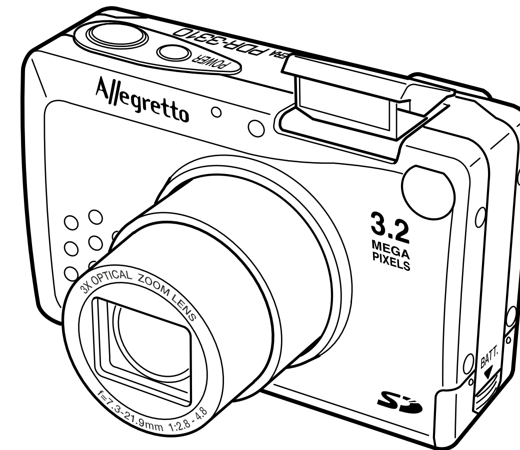
TOSHIBA

取扱説明書



東芝デジタルカメラ取扱説明書

Allegretto PDR-3310

お買い上げありがとうございます。
このTOSHIBA Allegretto PDR-3310は、有効画素数322万画素の高画質デジタルスチルカメラです。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、正しい取扱いで末永くご使用ください。

SDメモリーカードまたはマルチメディアカード*をお使いください。
本書では、これらのカードのことを「メモリーカード」と称しております。

＊MultiMediaCard™は、ドイツInfineon Technologies AG社の商標であり、MMCA（MultiMediaCard Association）へライセンスされています。

目次

	安全上のご注意 4	正しくお使いいただくために 12	各部の名称 20
カメラの準備	電池の入れかたと 充電のしかた 25	メモリーカードの 入れかたと取り出しかた 26	日付の設定 28
撮影の基本	液晶モニターを使って静止画像を 撮影する 29	液晶モニターを使って動画を撮影する 33	光学ファインダーを使って 静止画を撮影する 34
いろいろな機能を 使った撮影	ストロボを使った撮影 .... 38 マクロ撮影と遠景撮影 .... 40 セルフタイマーを使う .... 42 画質を選ぶ .... 43 露出を補正する .... 45 ホワイトバランスを調節する 46	カラーモードで白黒やセピアの 画像を撮影する .... 49 絞りを決めて撮影する(AEモード) .. 50 フォーカス距離を決めて撮影する ... 51 夜景や室内で撮影する (シャッタースピードを調整する) ... 52	感度を 2 倍、4 倍にする .... 54 測光方式を選ぶ .... 55 REC レビューの設定 .... 57 電子ズームの ON/OFF .... 58 その他の操作 59
再生の基本	液晶モニターで再生する 60	液晶モニターで動画を再生する ... 61	
いろいろな再生と 消去のしかた	画像の順／逆送りを早くする .... 63 再生画像のクローズアップ .... 63 撮影時の情報を表示させる .... 64 マルチ表示（画像の一覧表示）... 65	画像をプロテクトする .... 66 画像を選んで消去する .... 67 画像を全て消去する .... 68 画像を回転する 70	自動再生する .... 71 DPOF の設定 .... 72 画像の大きさを変える（トリミング）... 74 トリミングした画像を見る･消去する ... 76
セットアップの使いかた	メモリーカードのフォーマット ... 78 電子音の ON/OFF .... 80 オートパワー OFF の設定 .... 81 撮影モードロックの ON/OFF .. 83	表示言語を切り替える .... 85 ビデオ出力形式を選ぶ .... 86 メモリーカードに 新しいフォルダを作る 87	撮影モードとセットアップ モードを初期設定に戻す .... 89 選択色の変更 90
パソコンで画像を見る	USB ドライバーをインストールする .. 95 画像ソフトをインストールする 97	USB ケーブルをパソコンに接続 する 98	パソコンで画像を見る 100
その他	液晶モニターについての操作 .... 104 故障とお考えになる前に… 105	SD メモリーカードのご使用のお願い.. 109 主な仕様 111	保証書について / アフターサービスのご案内 114 インデックス 115

安全上のご注意

ご使用の前に、この安全上のご注意をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
この取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。
次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示の説明

表　示	表示の意味
⚠危険	"誤った取扱いをすると人が死亡する、または重傷*1を負う危険が差し迫って発生する可能性のあること"を示します。
⚠警告	"誤った取扱いをすると人が死亡するまたは重傷*1を負う可能性のあること"を示します。
⚠注意	"誤った取扱いをすると人が傷害*2を負う可能性、または物的損害*3のみが発生する可能性のあること"を示します。 ＊1：重傷とは失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。 ＊2：傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをいいます。 ＊3：物的損害とは、家屋・家財などにかかわる拡大損害をいいます。

図記号の説明

図記号	図記号の意味
⃠	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。
●	強制（必ずすること）を示します。 具体的な強制内容は、図記号の中や近くに絵や文章で指示します。

免責事項について

●地震、火災、第三者による行為、その他事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
●本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失・事業の中断・記憶内容の変化・消失など）に関して、当社は一切責任を負いません。
●取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
●当社が関与しない接続機器、ソフトウエアとの組み合わせによる誤動作等から生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
●お客様ご自身又は権限のない第三者が修理・改造を行った場合に生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
●本製品に関し、いかなる場合も当社の費用負担は本製品の個品価格以内とします。

⚠危険	
禁止	**バッテリーを加熱したり、分解したり、火や水の中に入れないこと** 破裂・発火・発熱により、火災・大けがの原因となります。
禁止	**バッテリーをハンマーでたたいたり、踏みつけたり、落下させたり、強い衝撃を与えないこと** 破裂・発火・発熱により、火災・大けがの原因となります。
指示	**バッテリーは指定した充電器を用い、指定した方法で充電すること** 指定以外の方法では、破裂・発火・発熱により、火災・大けがの原因となります。
指示	**バッテリーは指定された用途にのみ使用すること** 指定以外の用途に使用すると、バッテリーの破裂・発火・発熱により、火災・大けがの原因となります。

安全上のご注意 -つづき-

⚠危険

禁止	**バッテリーを金属性のボールペンやネックレスなどと一緒に携帯したり、保管しないこと** バッテリーの＋端子と－端子の間がショートし、バッテリーの破裂･発火･発熱により、火災･大けがの原因となります。

⚠警告

電源プラグをコンセントから抜け	**異臭、発煙、過熱などの異常が発生したときは電源を切り、バッテリーや AC アダプターを取りはずすこと** そのまま使用すると火災･感電･やけどの原因となります。修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。
電源プラグをコンセントから抜け	**異物や水などが機器の内部に入ったときは電源を切り、バッテリーや AC アダプターを取りはずすこと** そのまま使用すると火災･感電の原因となります。お買い上げの販売店にご連絡ください。
電源プラグをコンセントから抜け	**機器を落としたり、ケースを破損したときは電源を切り、バッテリーや AC アダプターを取りはずすこと** そのまま使用すると火災･感電の原因となります。お買い上げの販売店にご連絡ください。
禁止	**ぐらついた台の上､かたむいたところなど不安定な場所に置かないこと** 落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

⚠警告

水ぬれ禁止	**水がかかる場所で使用しないこと** 火災･感電の原因となります。雨天、降雪、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
風呂、シャワー室での使用禁止	**風呂場・シャワー室で使用しないこと** 火災･感電の原因となります。
禁止	**金属類や燃えやすい物など異物を内部に入れないこと** 火災･感電の原因となります。SD メモリーカードカバーを開けて内部に異物を入れたり､落とし込んだりしないでください。
分解禁止	**分解・改造・修理しないこと** 火災･感電の原因となります。修理、内部の点検はお買い上げの販売店にご依頼ください。
接触禁止	**雷が鳴りだしたら電源配線・テレビ配線に触れないこと** 感電の原因となります。
禁止	**歩行中、自動車、オートバイなどを運転中に使用しないこと** 転倒･交通事故の原因となります。
指示	**指定の電池、指定の AC アダプターを使用すること** 指定以外のものを使用すると、火災･故障･誤動作の原因となります。

安全上のご注意 - つづき -

⚠ 警告	
禁止	**バッテリーは幼児の手の届く場所に置かないこと** バッテリーをお子さまが飲み込んだりすると、中毒の原因となります。もし、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
指示	**バッテリーの液がもれて目に入ったときは、すぐにきれいな水で目を洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に障害が起きる原因となります。
指示	**ACアダプターは、表示された電源電圧（AC100V）で使用すること** 指示電源電圧以外で使用すると、火災・感電の原因となります。
禁止	コードを無理に折り曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、継ぎ足す等は絶対にしないでください。

⚠ 注意	
指示	**航空機内で使用するときは航空会社の指示に従うこと** 航空管制上、使用が制限される場合があります。
禁止	**湿気・湯気・油煙・ほこりの多い場所で使用しないこと** 火災・感電の原因となることがあります。
禁止	**車の中など温度が高くなる場所に放置しないこと** ケースや内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
禁止	**布や布団の上に置いたり、おおったりしないこと** 熱がこもってケースが変形し、火災の原因となることがあります。風通しのよい状態でご使用ください。
指示	**移動させるときはコードやケーブルをはずすこと** コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
禁止	**落としたり、強い衝撃を与えないこと** 火災・感電・故障の原因となることがあります。
指示	**お手入れするときは、電池や AC アダプターをはずすこと** 取りつけたまま行うと、感電の原因となることがあります。

安全上のご注意 - つづき -

⚠注意	
指示	**長期間使用しないときは電池やACアダプターをはずすこと** 火災の原因となることがあります。
指示	**バッテリーの極性表示（＋と－の向き）に注意し、正しく入れること** 入れ方を間違えると、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
禁止	**ファインダーを通して太陽を見ないこと** 目を痛める原因となることがあります。
禁止	**目の近くでストロボを発光させないこと** 一時的な視力障害の原因となることがあります。
禁止	**持ち運ぶときに振り回さないこと** ストラップに手を通したまま本体をぶらぶらさせると、人や物にぶつけたりしてけが・故障の原因となることがあります。
指示	**使用済みのバッテリーは電極カバーを付ける、またはプラス（＋）とマイナス（－）にテープをはるなどして保管、廃棄すること** そのまま保管、廃棄すると金属類でのショートにより、液もれ・発熱・破裂し、やけど・けがの原因となることがあります。
禁止	**液晶モニターに衝撃を与えないこと** 破損したり、ガラスが割れたり内部の液が出てくることがあります。内部の液が目に入ったり、体や衣服についたときはきれいな水で洗い流してください。目に入った場合は、その後医師の治療を受けてください。

⚠注意	
指示	**２年に１度くらいは内部の掃除を販売店にご相談ください** 機器の内部にほこりがたまると、火災・故障の原因となることがあります。掃除費用については、お買い上げの販売店にご相談ください。
禁止	**コンセントからの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。** カメラからの抜き差しはプラグを持って行ってください。コードを引っ張るとコードが傷ついたり断線したり火災や感電の原因になることがあります。

正しくお使いいただくために

本製品の取り扱いについて

ご使用の際は、「安全上のご注意」（P.4）および次の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

●次のような場所での使用や保管は避けてください

・湿気やゴミ、ほこりの多いところ
・直射日光のあたるところ
・高温または低温のところ
・引火性の高いガスが充満しているところ
・ガソリン、ベンジン、シンナーなどの近く
・振動の激しいところ
・油煙や湯気の当たるところ
・強い磁場の発生するところ（モーター、トランス、磁石のそばなど）
・防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

●砂がかからないようにしてください

砂は本製品の大敵です。砂がかかると故障の原因になるだけではなく、修理できなくなることもあります。
海辺や砂地、砂ぼこりが起こる場所などでは、特にご注意ください。

●結露にご注意ください

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ちこんだときなど、内部やレンズなどに水滴がつく（結露する）ことがあります。
その場合は電源を切り、１時間ほどたってからお使いください。また、SD メモリーカードに水滴がついたときは、本体から取り出し、水滴をふき取った後しばらくたってからお使いください。

●お手入れするときは

・レンズ、液晶モニター表面、ファインダーなどは、傷を防ぐためにブロアーブラシなどでほこりをはらい、かわいた柔らかい布などで軽くふいてください。
・本体は、かわいた柔らかい布などでふいてください。シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性の物をかけないでください。変質・変形したり、塗料がはげるなどの原因となります。

●海外で使うときは

・本製品は国内仕様のため、付属している保証書は国内に限られています。旅行先で万一、故障や不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと、国内のお買い上げ店にご相談ください。
・空港で預ける旅行カバンなどに本製品を入れないでください。荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部部品の故障の原因となることがあります。

●カメラ使用上の注意

撮影や再生直後など、カードアクセス LED が点滅しているときは 、SD メモリーカードまたはマルチメディアカードを取り出さないでください。

●リセット機能について

このカメラは、外部の強力な電磁波や静電気等に対して極めてまれにカメラが作動しなくなることがあります。このような場合は一度電池を取り出し、再度入れ直してからご使用ください。

正しくお使いいただくために - つづき -

バッテリーの取り扱いについて

本製品では、リチウムイオンバッテリーパック（PDR-BT9）を使用します。本書中ではバッテリーと記述します。その他のバッテリーは使用できません。
ご使用の際は、「安全上のご注意」（P.4）および次の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。
＊バッテリーはご購入時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。
＊ご使用になるときは、必ず電極カバーをはずしてください。

ご使用するときは

・バッテリーは使用しなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1 日〜 2 日前）にバッテリーを充電してください。
・バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
・寒冷地では、撮影できるコマ数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロをご使用になる場合は、直接バッテリーに触れないようにしてください。
・端子部は常にきれいにしておいてください。
・長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。
・常温で使用した場合、300 回以上繰返し充電して使えます。十分に充電しても、使用できる時間が著しく短くなったときは、新しいバッテリーをお求めください。

長期間使用しないときは

・しばらくバッテリーを使用しない場合は、使い切った状態で保存してください。充電した状態で長期間保存すると特性が劣化することがあります。
・長期間保存する場合は、年に 1 回程度充電した後、使い切ってから保存してください。
・バッテリーを使用しないときは、必ず本体からはずしてください。つけたままにしておくと、電源が切れていても微量の電流が流れていますので、過放電になり、使用できなくなるおそれがあります。
・カバーをつけて、涼しいところで保管してください。周囲の温度が 15℃〜 25℃の乾燥したところをおすすめします。極端に暑いところや寒いところは避けてください。

充電について

・初めてご使用になるときや長期間ご使用にならなかったときは、ご使用の前に必ず充電してください。
・AC アダプター（付属品：AC-71L）を使用して、カメラ本体で充電ができます（P.25）。使いきったバッテリーの充電時間は約 5 時間です。
・バッテリーを充電する前に、放電したり、使いきったりする必要はありません。
・充電が終わった後や使用直後に、バッテリーが熱を持つことがありますが、異常ではありません。
・充電は周囲の温度が 0℃〜＋ 45℃の範囲で可能ですが、バッテリーの性能を十分に発揮させるために、約＋10℃〜＋ 30℃の範囲で充電することをおすすめします。
・充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

小型充電池のリサイクル



不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために破棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

正しくお使いいただくために -つづき-

AC アダプターの取り扱いについて

本機には、必ず付属の AC アダプター（AC-71L）をご使用ください。それ以外の AC アダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。
ご使用の際は、「安全上のご注意」（ P.4）および次の内容をよくお読みになり、記載事項をお守りください。

- AC アダプターの接点部に、他の金属が触れないようにしてください。ショートする危険があります。
- 接続するときは、コードのプラグを本体の DC IN 5V 端子にしっかり差し込んでください。それ以外の端子に差し込むと故障の原因となることがあります。
- 接続コードを抜くときは、本体の電源を切り、プラグを持って抜いてください。コードを引っ張らないでください。
- 落としたり、強い衝撃をあたえないでください。
- 高温多湿のところでは使用しないでください。
- バッテリー動作中に AC アダプターを差し込まないでください。一度電源を切ってから差し込んでください。
- AC アダプターは室内専用です。
- AC アダプターは指定の機器以外には使用しないでください。
- 使用中、AC アダプターが熱くなることがありますが、故障ではありません。
- 内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。
- ラジオの近くで使用すると、雑音が入る場合がありますので、離してお使いください。
- 本体が動作中にバッテリーまたは AC アダプターをはずすと、日時が保持されないことがあります。日時を設定し直してください（P.28）。

著作権についてのご注意

デジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむことなどを除いては、著作権法上、権利者に無断で使用することはできません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の対象となっている画像やファイルが記録されたメモリーカード（SD メモリーカード等）の伝送は、著作権法で許容された範囲内でのご使用に限られますので、ご注意ください。

ラジオ、テレビなどへの電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報処理装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

重要

お客様へ・・・・添付ソフトウェアをご使用になられる前に必ずお読みください。

ソフトウェアおよび取扱説明書についてのお知らせとお願い

（1） 添付のソフトウェアおよび取扱説明書の一部または全部を、許可なく転載したり複製することは出来ません。
（2） 添付のソフトウェアおよび取扱説明書は、1台の機器について使用できます。
（3） 添付のソフトウェアおよび取扱説明書により機器を使用して、お客様または第三者にいかなる損害が発生した場合にも、当社はその責任を一切負いかねますのでご了承ください。
（4） 本製品につきましては万全を期しておりますが、万一製造上の原因による不良品がありましたら、お取替えいたします。それ以外につきましてはご容赦ください。
（5） 意匠、仕様、ソフトウェアおよび取扱説明書の内容は、改良のため予告なく変更することがありますので、ご了承ください。
（6） 取扱説明書で記載してあるパソコンの画面は一例です。実際の画面と異なる場合があります。
（7） 取扱説明書の記載の誤まりなどについての補償は、ご容赦ください。
（8） 付属のCD-ROMを普通のCDプレーヤーで再生しないでください。ヘッドフォンやスピーカーを破損したり、耳をいためたりするおそれがあります。

商標について

・Windows、WindowsNT は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
・Windows の正式名称は Microsoft Windows Operating System です。
・Mocintosh、QuickTime は、Apple Computer,Inc. の商標です。
・Image Expert は、Sierra Imaging 社の登録商標です。
・その他の社名と商品名は各社の商標または登録商標です。

用語について

・Windows 98
Micorsoft Windows 98 operating system 日本語版を示します。
・Windows 2000
Micorsoft Windows 2000 operating system 日本語版を示します。
・Windows ME
Micorsoft Windows ME operating system 日本語版を示します。
・Windows XP
Micorsoft Windows XP operating system 日本語版を示します。
・画像
静止画像および動画像を示します。

各部の名称

《操作部》

“🌷/▲”ボタン（40ページ）
マクロ撮影または遠景撮影モードに切り替えます。

“ϟ”ボタン（38ページ）
各種ストロボ撮影モードを切り替えます。

モード切替レバー
撮影、再生、セットアップのモードを切り替えます。

“◁／▷／△／▽”ボタン
各種メニューの選択や再生画像の順／逆送りなどに使います。

“W”ボタン／“T”ボタン
撮影時はズーミング、再生時は画像の拡大表示ができます。

“◢”ボタン
液晶の明るさ調節や各種メニューの設定に使います。

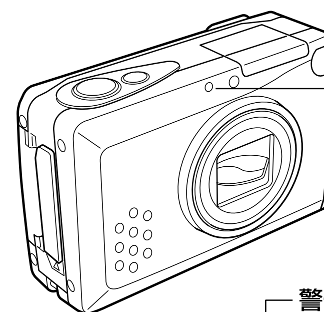
“DISP”ボタン
“📷”撮影モードのとき、液晶モニターの表示を出したり、消したりします。

“MENU”ボタン
撮影時または再生時のメニューを出したり、消したりします。

“Power”ボタン
カメラ電源をONまたはOFFにします。

シャッターボタン

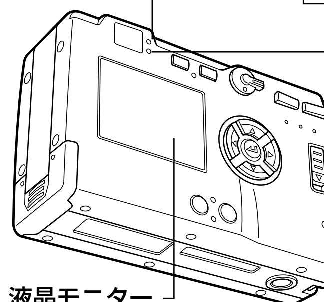
《表示部》



セルフタイマー LED（赤）
（42ページ）
セルフタイマー撮影中は点滅、動画撮影中と再生時、セットアップ時は点灯。PCモード時は短い間隔で点滅します。

警告 LED（赤）
リチウムイオンバッテリーの充電状況とストロボの充電、カメラぶれ警告をお知らせします。

撮影時	ストロボ充電中	点滅（約4回／秒）
	カメラぶれ警告	点滅（約8回／秒）
その他	バッテリー充電中	点灯
	バッテリー充電異常	点滅

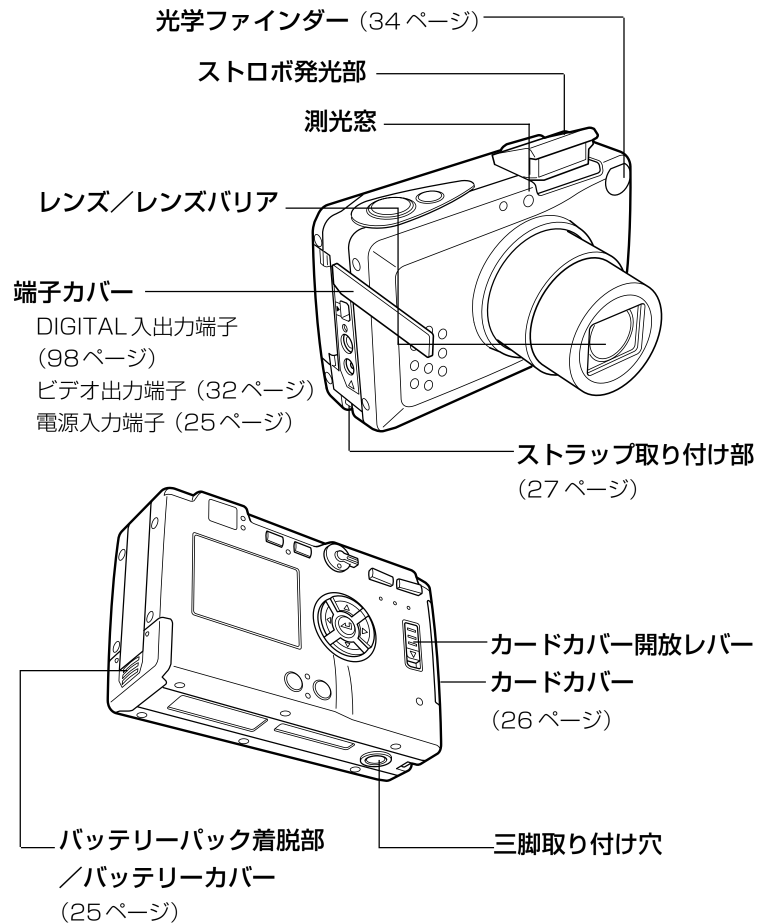


スタンバイ LED（緑）
ピント合わせの状態とリチウムイオンバッテリーの充電完了をお知らせします。

カードアクセス LED（橙）
メモリーカードにアクセスしているときに点滅します。
- 点滅中はカードカバーを開けたり、メモリーカードの取り出しは絶対に行わないでください。

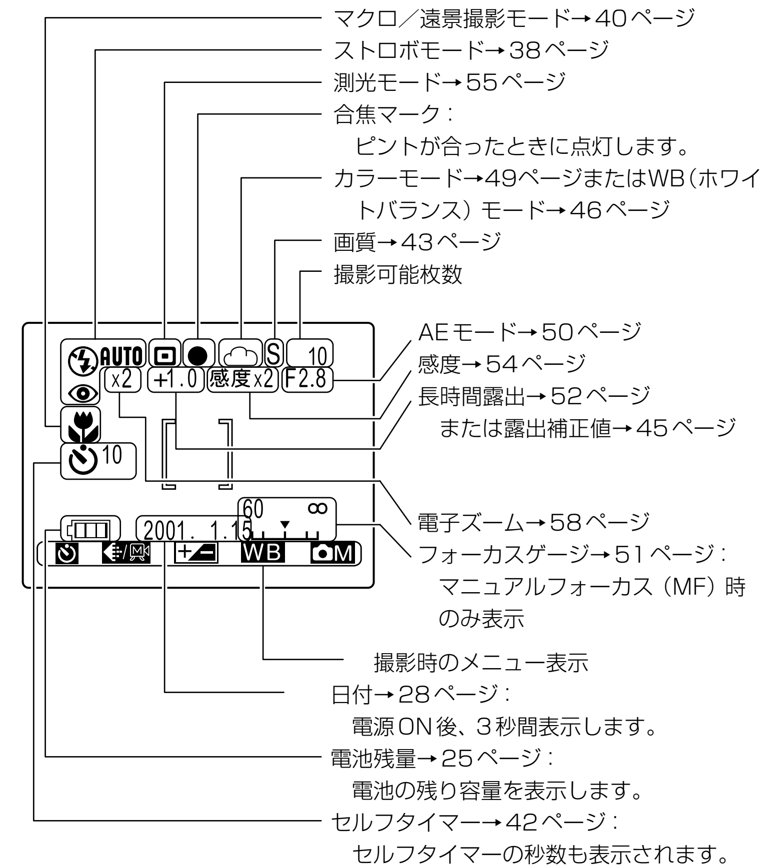
液晶モニター
撮影時はビューファインダー、再生時やセットアップ時は画像や各種メニューを表示します。

《その他》



《液晶モニターに表示されるマーク》

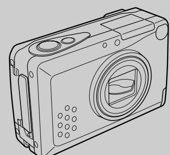
（表示内容は次の通りです。この図は説明のために全情報を表示したもので、実際の表示とは異なります。）

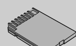


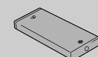
カメラの準備

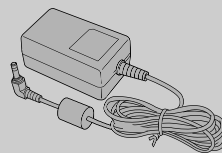
同梱品について

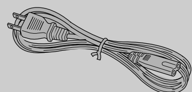
次の製品がそろっているかどうか、ご確認ください。

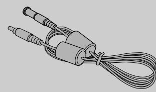

デジタルカメラ
TOSHIBA PDR-3310

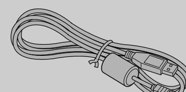

SDメモリーカード

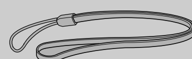

リチウムイオンバッテリーパック

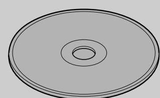

AC アダプター

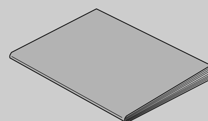

AC アダプターケーブル

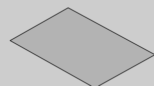

ビデオケーブル

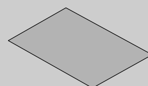

USB ケーブル


ハンドストラップ


CD-ROM
（ドライバーソフト）

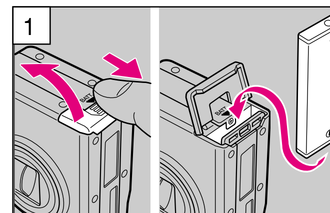

取扱説明書（本書）


ユーザー登録はがき


保証書

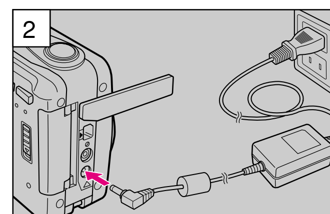
※ご使用の前に　このカメラは高性能 IC を使用した電子機器です。ご使用中にICの放熱によりカメラが熱くなることがあります。故障ではありませんが、長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどを起こす恐れがありますのでご注意ください。

電池の入れかたと充電のしかた



電池ぶたを開けて、バッテリーパック（付属品）を入れます。

- バッテリーパックの入れる向きに注意してください。逆向きに入れた場合カメラは動作しません。

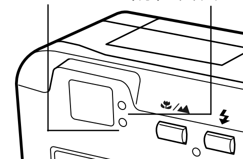


ACアダプターをカメラにつないで充電します。

- 本体の電源がOFFの時、充電を行います。

《充電時間》

スタンバイLED（緑）警告LED（赤）

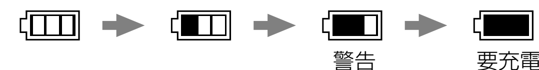


充電時間は約 5 時間です。

充電中は警告LEDが点灯します。充電が終わると警告LEDが消えスタンバイLEDが点灯します。

《充電の目安》

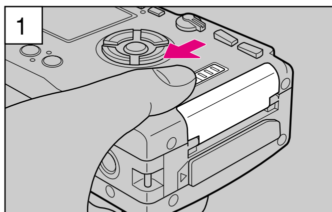
液晶モニターの電池残量表示を目安に充電してください。



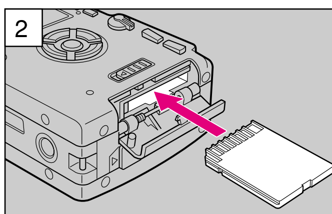
- ＡＣアダプター接続時、電池残量表示は消えます。

メモリーカードの入れかたと取り出しかた

《入れかた》

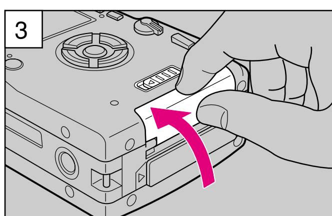


カードカバー開放レバーをスライドしてカードカバーを開けます。



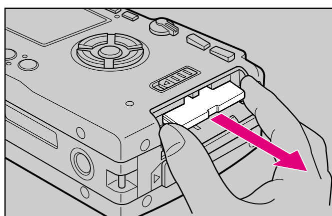
メモリーカードを入れます。

- メモリーカードは「カチッ」と音がして止まるところまで差し込んでください。
- メモリーカードの向きにご注意ください。



カードカバーを閉めます。

《取り出しかた》

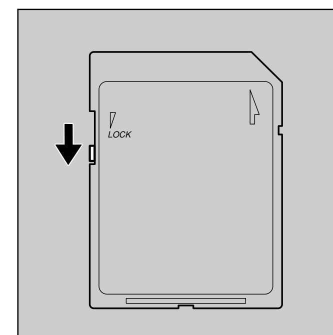


カードカバー開放レバーをスライドしてカードカバーを開けてメモリーカードを取り出します。

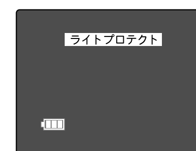
- メモリーカードを軽く一回押してから取り出してください。

ライトプロテクト（書込禁止）スイッチ

※SDメモリーカードのみ



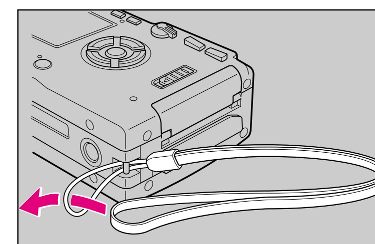
SDメモリーカードにはライトプロテクトスイッチがついています。このスイッチを下にスライドするとカードへのデータ書込が禁止され、カードに保存されている画像などのデータが保護されます。
なお、この状態のカードを使って撮影や消去などはできません。



液晶モニターには“ライトプロテクト”と表示されます。

《ハンドストラップの取り付けかた》

図のように取り付けてください。



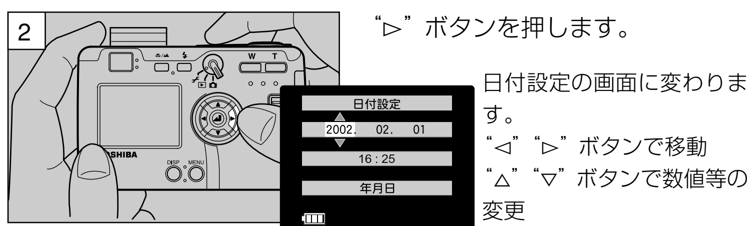
日付の設定

日付、時刻の設定と日付のならび順を設定します。

《操作》



モード切替レバーを“SET UP”に合わせます。



“▷”ボタンを押します。

日付設定の画面に変わります。
“◁”“▷”ボタンで移動
“△”“▽”ボタンで数値等の変更

操作の中止→“**MENU**”ボタンを押します。（設定内容は操作前のものに戻ります。）



“⏎”ボタンを押して、設定完了です。

メニューの表示に戻ります。

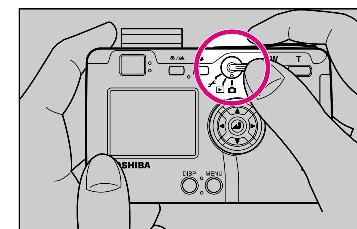
撮影の基本

液晶モニターを使って静止画像を撮影する

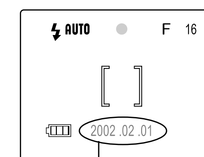
※ストロボ部に関するご注意
本機のストロボ部は、電源ON時からOFF時までポップアップした状態です。無理に閉じないようご注意ください。

※正確な構図を決めるときは液晶モニターをお使いください。表示された通りの画像が撮影できます。

1. モード切替レバーを"📷"にして、カメラの電源をONにします。

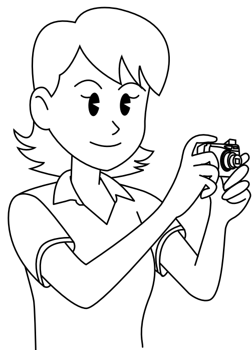


電子音が鳴り数秒後、液晶モニターがつきます。



3秒間表示して消えます。

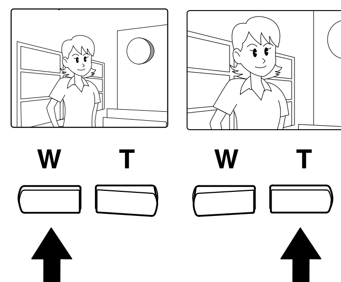
2.カメラぶれしないよう、図のように両手でしっかりとささえてください。



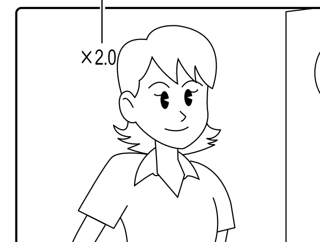
〈構えかたのコツ〉
ピントが悪い画像の多くはカメラぶれが原因です。カメラぶれしないように自分にあったフォームを作る研究をしてください。

- 右人差し指をシャッターボタンの上にのせます。
- レンズやストロボ発光部に指がかからないようにします。
- 手にあまり力を入れず、静かにシャッターボタンを押します。
- 左手はカメラをしっかりささえます。
- 脇をしめてカメラを安定させます。

3.液晶モニターを見ながら構図を決めます。
"**T**"ボタンを押すと被写体が拡大(テレ)され、"**W**"ボタンを押すと縮小(ワイド)されます。

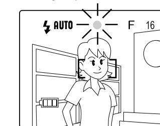


〈電子ズームでさらに拡大〉
"**T**" ボタンを押して最大まで拡大して一旦指を離し、再度"**T**" ボタンを押してください。1.3倍、1.6倍、2倍の3段階で電子ズームの拡大ができます。



- 電子的な制御で拡大しているため、光学ファインダーでは確認できません。液晶モニターをONにしてお使いください。
- 液晶モニターが消えているとき、電子ズームはできません。
- 画質が[ ]のとき、電子ズームはできません。[**S**]、[**F**]のとき、電子ズームをして撮影すると、画質は[**N**]になります。

4.シャッターボタンを押して撮影します。
① シャッターボタンを半押し(32ページ)して、合焦マークの点灯と電子音が"ピッピッ"と鳴ったらピント合わせ完了です。

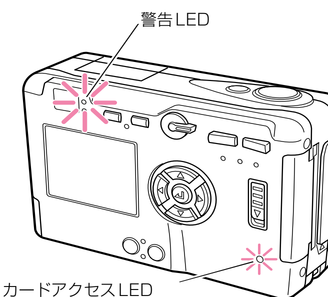


② そのままさらに押して電子音が"ピッ"と鳴ったら画像を記録し始めます。



一瞬黒くなった後、ビューファインダー画像に戻ります。

③ 記録中はカードアクセスLEDが点滅します。

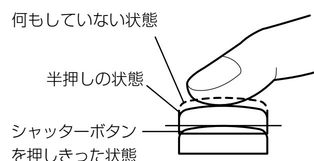


〈撮影時のご注意〉

- 次の撮影は警告LEDの点滅が終わるまでお待ちください。
- “📷” 撮影モードでお使いのとき、カメラに何もしないでしばらく放置すると、カメラが休止の状態になります。このときはシャッターボタンを半押しするか他のボタンを押すなどすると、撮影できる状態に戻ります。（詳しくは82ページをお読みください。）
- カードアクセスLED点滅中は、カードカバーを開けたり、メモリーカードを抜いたりしないでください。メモリーカードやデータを破損するおそれがあります。

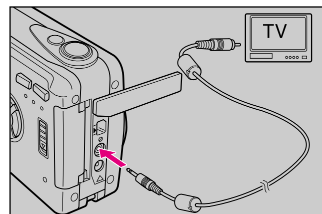
〈半押しのこと〉

シャッターボタンを軽く押したとき、途中で止まるところがあります。これを半押しの状態といい、ピントと露出がオートセットされます。そのままさらに押すと画像の記録を開始します。



〈こんなこともできる〉

テレビ画面をビューファインダーにした撮影もできます。



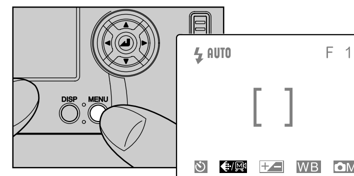
テレビにつなぐと液晶モニターが消えてテレビ画面に被写体が表示されます。

- このとき、液晶モニターは消えています。
- 接続は付属のビデオケーブルをご使用ください。

液晶モニターを使って動画を撮影する

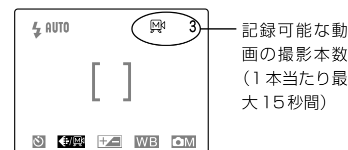
15秒間の簡単な動画が撮れる機能です。動画記録時のモニター表示は次のようになります。

① “**MENU**” ボタンを押します。



② [ ] を選び “ ” ボタンを押して [ ] 動画に設定します。

③ シャッターボタンを押すと動画の記録を始め、15秒後に自動で記録を終了します。



記録可能な動画の撮影本数（1本当たり最大15秒間）

- 15秒以内で止めるときは、シャッターボタンを押します。

〈ご注意〉

- 動画撮影中、光学ズームはできますが、電子ズーム（58ページ）は使えません。
- パソコンで見るときは、QuickTime 4.0以上をインストールしてください。

光学ファインダーを使って静止画を撮影する

液晶モニターを OFF にして使うと電池の消費を節約できます。
液晶モニターのON/OFF→104ページ

1. モード切替レバーを“📷”にして、カメラの電源をONにします。

2. “**DISP**”ボタンを押して、液晶モニターを消します。

3. カメラぶれしないよう、図のように両手でしっかりとささえてください。

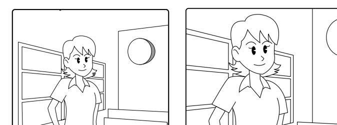


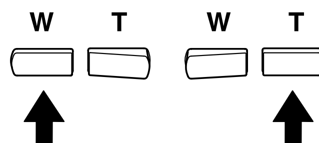
光学ファインダーを
覗いて構えているとき

● 30ページの「構えかたのコツ」をご覧ください。

4. 光学ファインダーを見ながら構図を決めます。

“**T**”ボタンを押すと被写体が拡大（テレ）され、“**W**”ボタンを押すと縮小（ワイド）されます。

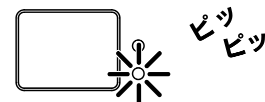




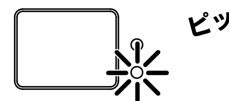
〈光学ファインダーを使うときの注意〉
光学ファインダーを使ったときは、被写体との距離（撮影距離）にご注意ください。
撮影距離が近いほど、構図のズレ（パララックス）が起こります。
正確に構図を決めるためには液晶モニターを使った撮影をおすすめします。
● パララックス→41ページ参照

5. シャッターボタンを押して撮影します。

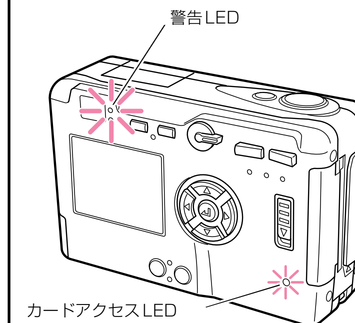
① シャッターボタンを半押しして、スタンバイ LED の点灯と電子音が“ピッピッ”と鳴ったらピント合わせ完了です。



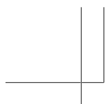
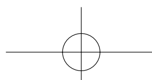
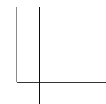
② そのままさらに押して電子音が“ピッ”と鳴ったら画像を記録し始めます。



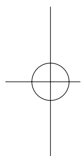
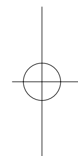
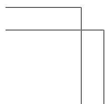
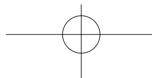
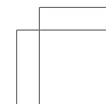
③ 記録中は警告LEDとカードアクセス LED が点滅します。



● 警告LEDの点滅が終わりましたら、次の撮影ができます。

MEMO

いろいろな機能を使った撮影

撮影モードの機能を紹介します。
撮影状況に合わせてお使いください。

液晶モニターを消してお使いになる方へ

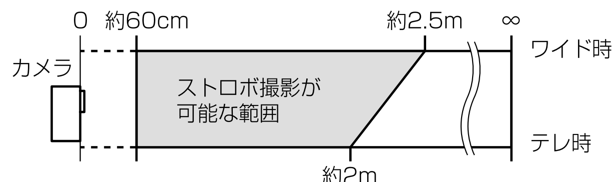
機能を設定するときや既に設定した機能を確認するときは、液晶モニターをつけてください。

ストロボを使った撮影

撮影状況に合わせてストロボ撮影の機能を使い分けてみましょう。

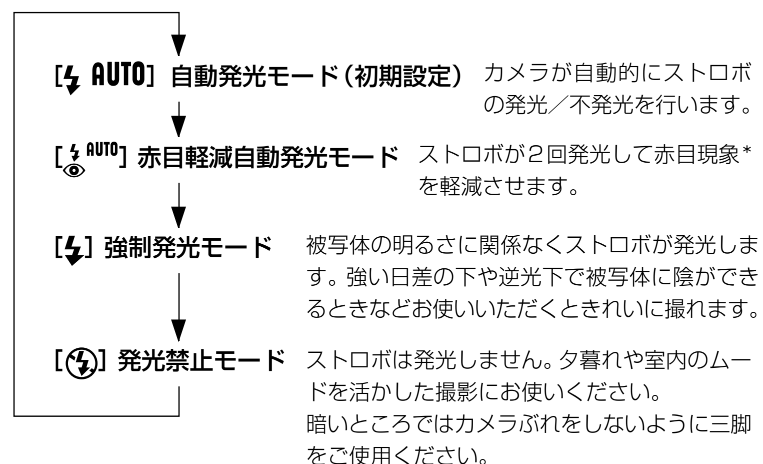
《ストロボ光の届く距離》

感度：標準時



《ストロボ撮影モードの種類》

“⚡”ボタンを押すと次のようにマークが変わります。



[⚡ AUTO] 自動発光モード（初期設定） カメラが自動的にストロボの発光／不発光を行います。

[⚡AUTO 👁] 赤目軽減自動発光モード ストロボが２回発光して赤目現象*を軽減させます。

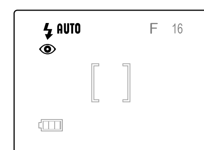
[⚡] 強制発光モード 被写体の明るさに関係なくストロボが発光します。強い日差の下や逆光下で被写体に陰ができるときなどお使いいただくときれいに撮れます。

[⊘] 発光禁止モード ストロボは発光しません。夕暮れや室内のムードを活かした撮影にお使いください。
暗いところではカメラぶれをしないように三脚をご使用ください。

* 赤目現象：人物をストロボ撮影すると、まれに瞳が赤く写ることがあります。これを赤目現象といい、眼球に入った光の反射（眼底反射）によって起こる現象です。

《操作》

① “⚡”ボタンを押してストロボモードを選びます。

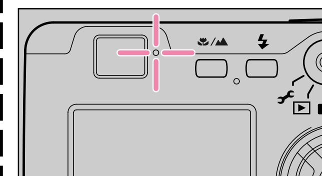


赤目軽減自動発光モードに設定したときの表示

② シャッターボタンを押して撮影してください。

〈ご注意〉

- シャッターボタンの半押し時に警告ＬＥＤ が点滅するときは、シャッタースピードが遅くなります。カメラぶれを防ぐため、三脚等をご使用ください。

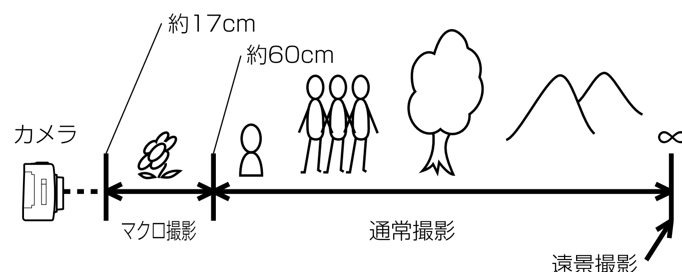


- ストロボ撮影が終了するとストロボの充電が行われ、警告LEDが点滅します。発光禁止モード[⊘]の時はストロボが発光しないので、充電処理は行われず警告LEDも点滅しません。

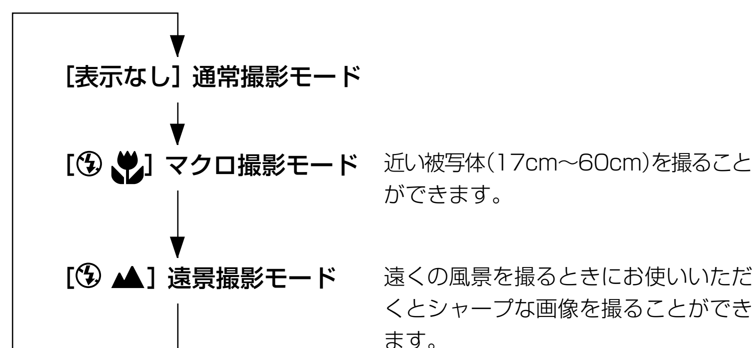
マクロ撮影と遠景撮影

撮影距離（被写体とカメラの距離）によってマクロ撮影と遠景撮影の機能を使い分けましょう。

《“マクロ／遠景”の使いどころ》



“/”ボタンを押すごとに次のようにマークが変わります。

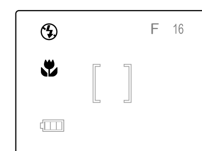


近い被写体（17cm～60cm）を撮ることができます。

遠くの風景を撮るときにお使いいただくとシャープな画像を撮ることができます。

《操作》

① “/”ボタンを押してモードを選びます。

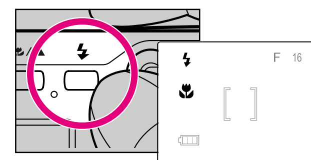


マクロ撮影モードに設定したときの表示

② シャッターボタンを押して撮影してください。

〈こんなこともできる〉

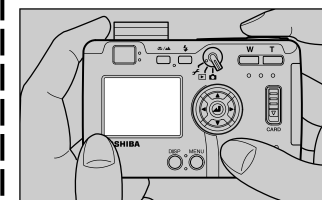
マクロ撮影モードのとき“”ボタンを押すとストロボ発光が可能になります。



ただし、被写体が近いのでストロボの光が強めにあたります。“露出補正”を使って明るさを調節してください。

〈ご注意〉

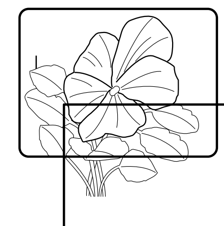
液晶モニターを消して光学ファインダーで撮影しているとき、［/］ボタンを押すと液晶モニターがつきます。



光学ファインダーでのマクロ撮影はパララックス*が起こりますので、液晶モニターを使った撮影をおすすめします。

* パララックスとは、光学ファインダーを覗いたときの構図と撮影した画像の構図がズレてしまうことです。

光学ファインダーを覗いたときの構図　　撮影した画像の構図



セルフタイマーを使う

記念写真など自分も写りたいときや接写するときなどにお使いください。

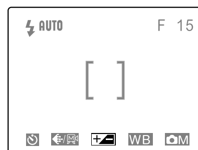
[10] : シャッターボタンを押してから10秒後にシャッターが切れますので、自分もいっしょに写りたいときにお使いください。

[2] : シャッターボタンを押してから2秒後にシャッターが切れますので、マクロ撮影や長時間露光でのカメラぶれを防ぎたいときはこちらをお使いください。

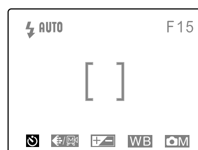
※カメラぶれを防ぐため、三脚などに固定してお使いください。

《操作》

① "MENU" ボタンを押します。



② "◁" ボタンを押して [ ] を選びます。



③ "◢" ボタンを押して、[10]（または [2]）を選びます。



セルフタイマー10秒を選んだときの表示

④ "MENU" ボタンを押すと、メニュー表示が消えます。

⑤ シャッターボタンを押して撮影してください。

● 通常撮影に戻すときも同じ操作です。

画質を選ぶ

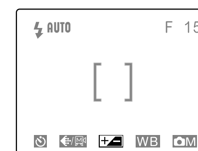
画質を変えたいときや動画を撮りたいときにお使いください。

画　質	画素数	容　量
[N] ノーマル	1024 × 768	約280KB
[F] ファイン	2048 × 1536	約1MB
[S] スーパーファイン	2048 × 1536	約2MB
[ ] 動画	320 × 240	(最大15秒)

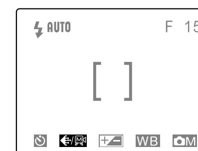
● 容量はあくまでも目安です。被写体の絵柄によってファイルサイズは変わります。

《操作》

① "MENU" ボタンを押します。



② "◁" ボタンを押して [ ] を選びます。



③ "◢" ボタンを押して、希望の画質または動画を選びます。



ノーマルを選んだときの表示

④ "MENU" ボタンを押すと、メニュー表示が消えます。

⑤ シャッターボタンを押して撮影してください。

《画質を選ぶときの目安》
画質を重視する場合は［**S**］または［**F**］、テレビで見たい場合は［**F**］または［**N**］、パソコンなどのホームページ作成など小さい画像サイズでよい場合は［**N**］にして撮影してください。拡大するなど特に画質を重視する場合は［**S**］をお使いください。

露出を補正する

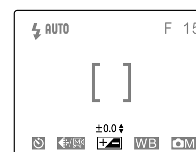
画像の明るさを少し変えたいときにお使いください。

《操作》

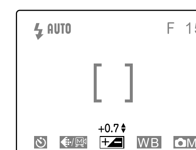
① “**MENU**” ボタンを押します。



② “◁” または “▷” ボタンを使って［+/-］を選び “↵” ボタンを押します。



③ “△” または “▽” ボタンを使って、希望の補正値を選び、“↵” ボタンを押します。



+0.7を選んだときの表示

④ “**MENU**” ボタンを押すと、メニュー表示が消えます。

⑤ シャッターボタンを押して撮影してください。

+2.0
・
・
・
+0.7
△ ▽
+0.3
△ ▽
±0.0
△ ▽
−0.3
△ ▽
−0.7
△ ▽
−1.0
・
・
・
−2.0

補正値は、“△” ボタンで+、“▽” ボタンで−に変わります。

● ストロボ撮影のとき、露出補正の値は、液晶モニターの表示にかかわらず、±1.0までになります。

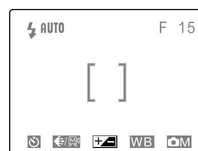
ホワイトバランスを調節する

画像の色調は光源の種類により変化します。撮影状況に合わせて次のモードを選んでください。

［AUTO］(初期設定)　カメラがホワイトバランスを自動で設定します。
［☀］　太陽光
［電球］　白熱電球
［雲］　曇天
［蛍光灯］　蛍光灯
［プリセット］　ホワイトバランスをマニュアルで設定したいときに使います。設定のしかたは 47 ページをご覧ください。
＊初期設定は太陽光に設定されています。

《操作》

① “MENU” ボタンを押します。



② “▷” ボタンを押して［WB］を選び “◢” ボタンを押します。



③ “◢” を押して［AUTO］［☀］［電球］［蛍光灯］［PS］のいずれか目的に合ったモードを選びます。


［☀］を選んだときの表示

④ “MENU” ボタンを押してメニュー表示を消します。



⑤シャッターボタンを押して撮影してください。

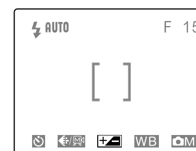
《プリセットの設定と撮影の操作》

ホワイトバランスをマニュアルで設定したいときは、この機能をお使いください。
被写体の色の基準となる白い部分を任意に設定して撮影することができます。もっと厳密に設定する場合は、白い用紙などを使ってください。

● プリセットは、電子ズームをしていない状態で行ってください。

《操作》

① “MENU” ボタンを押します。



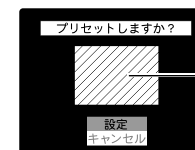
② “▷” ボタンを使って［◘M］を選び、“◢” ボタンを押して［詳細設定］メニューを表示させます。



③ “△” または “▽” ボタンを使って［WB PRESET］に合わせ、“▷” または “◢” ボタンを押します。



④ ホワイトバランスの基準となる被写体にカメラを合わせます。

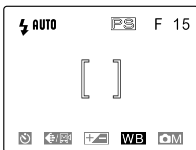


この範囲いっぱいにホワイトバランスの基準となる白い部分を入れてください。

⑤ "◢" ボタンを押すと設定完了し、**［詳細設定］**メニューに戻ります。



⑥ "**MENU**" ボタンを押して **［詳細設定］**画面を消します。



プリセットしたときの表示

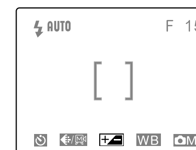
⑦《操作》《46 ページ》にしたがって **［プリセット］**に設定し、シャッターボタンを押して撮影してください。

カラーモードで白黒やセピアの画像を撮影する

通常のカラー撮影の他に、白黒とセピアが選べます。

《操作》

① "**MENU**" ボタンを押します。



② "▷" ボタンを押して［◘M］を選び "◢" ボタンを押します。



③［**カラーモード**］を選び、"▷" または "◢" ボタンを押します。



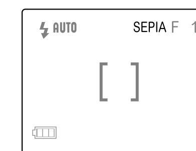
④ "△" または "▽" ボタンを使って［**セピア**］(または［**白黒**］)を選びます。



⑤ "◁" または "◢" ボタンを押します。



⑥ "**MENU**" ボタンを2回押して、メニュー表示を消します。



セピアを選んだときの表示

⑦ シャッターボタンを押して撮影してください。

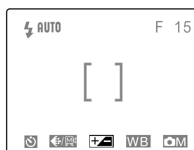
絞りを決めて撮影する（AEモード）

初期設定では、カメラが自動的に絞りとシャッタースピードを設定するプログラムモードに設定されています。
AEモードにして、絞り値をF2.8またはF9.6*（共にワイド時）に固定すると、カメラが被写体に合ったシャッタースピードを設定します。

《操作》

*F：明かるさ換算F値

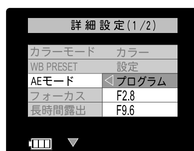
① “**MENU**” ボタンを押します。



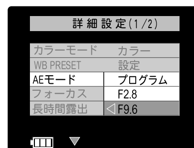
② “▷” ボタンを押して［📷M］を選び “◢” ボタンを押します。



③ “△” または “▽” ボタンを使って［**AEモード**］を選び、“▷” または “◢” ボタンを押します。



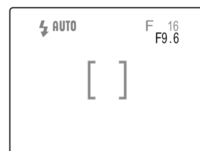
④ “△” または “▽” ボタンを使って［**F9.6**］（または［**F2.8**］）を選びます。



⑤ “◁” または “◢” ボタンを押します。



⑥ “**MENU**” ボタンを2回押して、メニュー表示を消します。



F9.6を選んだときの表示

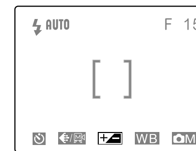
⑦ シャッターボタンを押して撮影してください。

フォーカス距離を決めて撮影する

AF（オートフォーカス）とMF（マニュアルフォーカス）が選べます。（初期設定はAFが設定されています。）MFに設定すると、フォーカスゲージが表示されます。撮影距離を指定して撮影してください。

《操作》

① “**MENU**” ボタンを押します。



② “▷” ボタンを押して［📷M］を選び “◢” ボタンを押します。

③ “△” または “▽” ボタンを使って［**フォーカス**］を選び、“▷” または “◢” ボタンを押します。

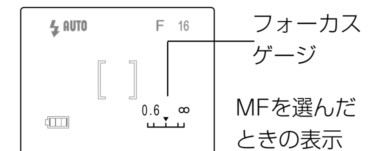
④ “△” または “▽” ボタンを使って［**MF**］（または［**AF**］）を選びます。



⑤ “◁” ボタンを押します。



⑥ “**MENU**” ボタンを２回押してメニュー表示を消します。



⑦ “◁” または “▷” ボタンを使って撮影距離を指定して、撮影してください。

● 撮影距離の0.6mではピントが合わない場合があります。

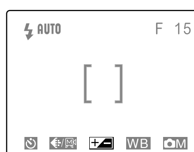
夜景や室内で撮影する（シャッタースピードを調整する）

シャッタースピード（シャッターが開いている時間）を遅くすると、夜景や室内のムードを活かした画像が撮れます。8秒間、4秒間、2秒間のシャッタースピードから選んでください。

- シャッタースピードが遅くなりますので、カメラぶれを防ぐため、三脚を使用してください。

《操作》

① “**MENU**” ボタンを押します。



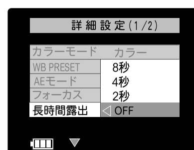
② “▷” ボタンを押して［M］を選び “◢” ボタンを押します。



③ “△” または “▽” ボタンを使って［**長時間露出**］を選び、“▷” または “◢” ボタンを押します。



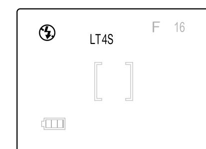
④ “△” または “▽” ボタンを使って［**4 秒**］（または［**2 秒**］、［**8 秒**］）を選びます。



⑤ “◁” または “◢” ボタンを押します。



⑥ “**MENU**” ボタンを２回押してメニュー表示を消します。



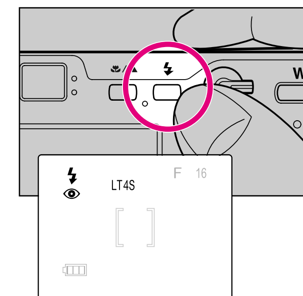
4秒［**LT4S**］を選んだときの表示

⑦ シャッターボタンを押して撮影してください。

- ［+/-］露出補正の設定はできません。

こんなこともできる

“⚡” ボタンを押すと長時間露出に加えて、赤目軽減強制発光モードも設定できます。



夕景や夜景などをバックにして人物を撮るときに活用できます。

感度を２倍、４倍にする

このカメラではフィルムの ISO 感度に相当する感度（標準、2 倍、4 倍）が選べます。
少し明るさが足りない場面などにご活用ください。

《操作》

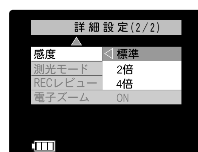
① “**MENU**” ボタンを押します。



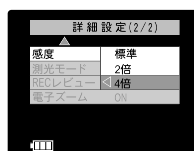
② “▷” ボタンを押して［📷M］を選び “◢” ボタンを押します。



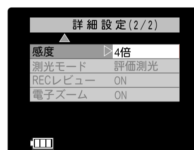
③ “△” または “▽” ボタンを使って［**感度**］を選び、“▷” または “◢” ボタンを押します。



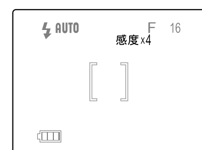
④ “△” または “▽” ボタンを使って［**4 倍**］（または［**2 倍**］、［**標準**］）を選びます。



⑤ “◁” または “◢” ボタンを押します。



⑥ “**MENU**” ボタンを2回押して、メニュー表示を消します。



4 倍を選んだときの表示

⑦ シャッターボタンを押して撮影してください。

測光方式を選ぶ

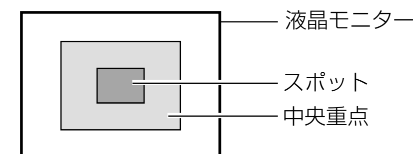
このモードでは露出を合わせるときの方式を選ぶことができます。
被写体に合わせて次の３点からお選びください。

［**評価測光**］（初期設定）“表示なし”　評価測光は、画面全体を分割して測光し、得られた測光値から被写体の条件に最適な露出値を決めます。一般的な撮影や明暗のあるさまざまな場面で正確な露出が得られます。

［**中央重点**］“□”　画面全体の中央部（□）の測光値から露出値を決めます。特に画面中心部の被写体の明るさにあわせて撮影する場合に適しています。

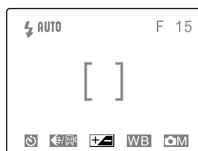
［**スポット**］“▣”　このモードでは画面全体の中心部（▣）の測光値から露出値を決めます。画面全体の中から、一部分の明るさにあわせて撮影する場合に適しています。

測光範囲の目安



《操作》

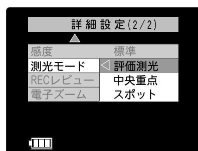
① “**MENU**” ボタンを押します。



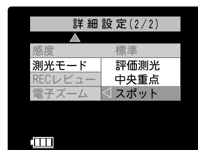
② “▷” ボタンを押して［M］を選び “◢” ボタンを押します。



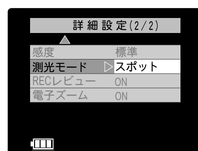
③ “△” または “▽” ボタンを使って［**測光モード**］を選び、“▷” または “◢” ボタンを押します。



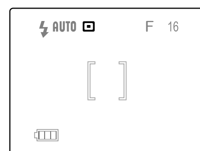
④ “△” または “▽” ボタンを使って［**スポット**］（または［**中央重点**］、［**評価測光**］）を選びます。



⑤ “◁” または “◢” ボタンを押します。



⑥ “**MENU**” ボタンを押して、メニュー表示を消します。



スポットを選んだときの表示

⑦ シャッターボタンを押して撮影してください。

REC レビューの設定

撮影直後に、撮影した画像を約 2 秒間表示する［**REC レビュー**］設定にすることができます。

初期設定　：シャッターを押す→液晶モニターが黒くなる→ビューファインダー画面に戻る。

RECレビュー　：シャッターを押す→液晶モニターが黒くなる→撮影した画像を表示→ビューファインダー画面に戻る。

《操作》

① “**MENU**” ボタンを押します。



② “▷” ボタンを押して［M］を選び “◢” ボタンを押します。



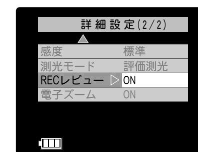
③ “△” または “▽” ボタンを使って［**RECレビュー**］を選び、“▷” または “◢” ボタンを押します。



④ “△” または “▽” ボタンを使って［**OFF**］または［**ON**］を選びます。



⑤ “◁” または “◢” ボタンを押しして設定完了です。



⑥ “**MENU**” ボタンを 2 回押して、メニュー表示を消します。

⑦ シャッターボタンを押して撮影してください。

● ［**REC レビュー**］に設定すると、撮影後次に撮影が可能になるまでの時間（撮影間隔）が伸びます。

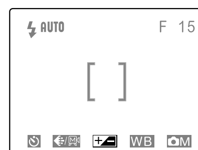
電子ズームのON/OFF

撮影時、“**T**” ボタンを押してテレ側にいっぱいズームした後、再度 “**T**” ボタンを押すと電子ズームが始まります。（31 ページ）
電子ズームを使う設定は［**ON**］を、電子ズームの使用禁止に設定するときは［**OFF**］を選んでください。

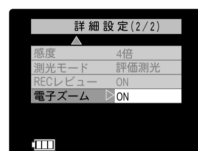
● 電子ズーム OFF の時には、液晶モニターに倍率を表示しません。

《操作》

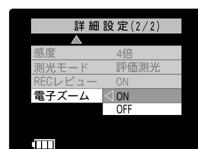
① “**MENU**” ボタンを押します。



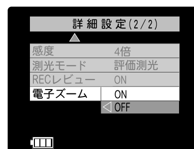
② “△” または “▽” ボタンを使って［**電子ズーム**］を選びます。



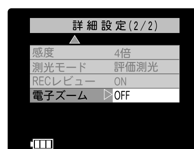
③ “▷” または “◢” ボタンを押します。



④ “△” または “▽” ボタンを使って［**OFF**］（または［**ON**］を選びます。



⑤ “◁” ボタン（または “◢” ボタン）を押して、設定完了です。



⑤ “**MENU**” ボタンを2回押して、メニュー表示を消します。

⑥ シャッターボタンを押して撮影してください。

その他の操作

《フォーカスロック》

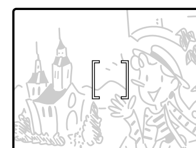
シャッターボタンを半押しするとピントと露出がオートセットされます。
撮影中ピントがうまく合わないときなどは撮影モードの機能と合わせてこの操作もご活用ください。

《操作》

① 被写体をフォーカスフレームに合わせてシャッターボタンを半押しします。この状態をフォーカスロックといいます。



② 半押ししたままカメラをずらして構図を決めたら、シャッターボタンをさらに押します。



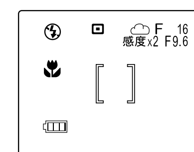
《撮影モードマークのON/OFF》

液晶モニターに表示されているマークを一時的に消すことができます。

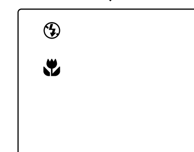
● ストロボモード、マクロ／遠景撮影モード、セルフタイマーのマークは消えません。

《操作の例》

例えば、次のように撮影機能が設定されているとき、“△” または “▽” ボタンを押すとマークが一時的に消え、構図が決めやすくなります。





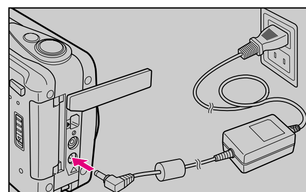


再び “△” または “▽” ボタンを押すと元の表示にもどります。

再生の基本

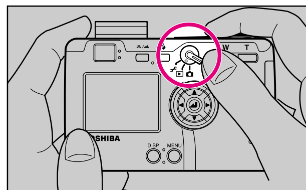
液晶モニターで再生する

長時間使用する場合は、ACアダプターをつないでご使用ください。

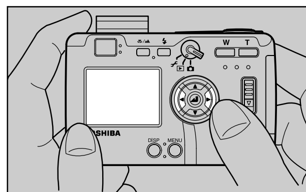


● 撮影済みのメモリーカードが入っていることをご確認ください。

モード切替レバーを“▶”にして、カメラの電源をONにします。

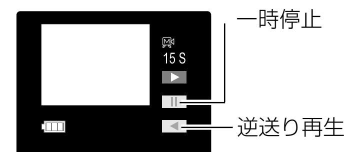


液晶モニターに画像が再生されます。撮影した順に、“▷”ボタンで順送り、“◁”ボタンで逆送りができます。

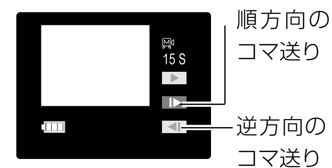


液晶モニターで動画を再生する

動画を表示させたら、“△”ボタンで［▶］を選び、“◢”ボタンを押すと動画が再生されます。

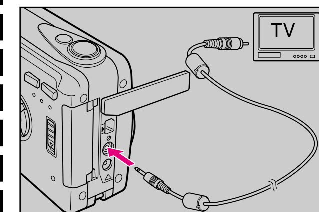


一時停止するとコマ送りができます。



〈こんなこともできる〉

テレビ画面で、撮影した画像が見られます。



● この時、液晶モニターは消えています。

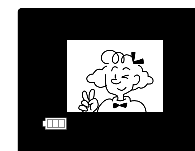
いろいろな再生と消去のしかた

画像の順／逆送りを早くする（サムネイル再生）

画像をサムネイルで再生して、順／逆送りを早くすることができます。
サムネイル:本来の画像を縮小表示させたイメージ画像で、このカメラでは次のように表示されます。

① モード切替レバーを“▶”にして、“◁”または“▷”ボタンを押したままにします。

② しばらくすると、画像がサムネイルで次々に表示されます。



再生画像のクローズアップ（2倍）

再生した画像を2倍に拡大することができます。

《操作》

① 拡大したい画像を表示します。



② “**T**”ボタンを押します。



画像の中央が2倍に拡大され、画面左上に“×2”と表示されます。

③ “◁/▷/△/▽”ボタンを使って、拡大したい領域を選びます。



● 拡大を解除するときは、“**W**”ボタンを押して元の表示状態に戻してください。

撮影時の情報を表示させる（インフォメーション表示）

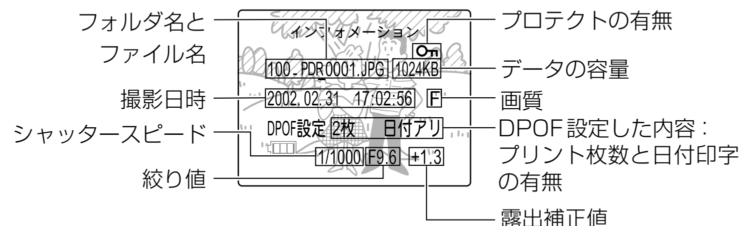
画像を撮影したときに設定した内容を表示することができます。
この表示をインフォメーション表示といいます。

《操作》

① インフォメーション表示したい画像を表示します。



② “△” ボタンを押します。



③ 再度 “△” ボタンを押すと、元の表示に戻ります。

● “▽” ボタンを使っても同様にインフォメーションが表示できます。

マルチ表示（画像の一覧表示）

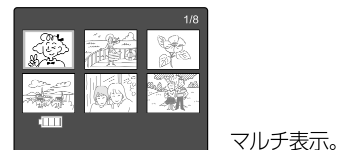
液晶モニターに６画像づつ再生します。たくさんの画像を選ぶときに便利な機能です。
また、この機能は他の再生メニューと併用して使うこともできます。

《操作》

① “**MENU**” ボタンを押します。

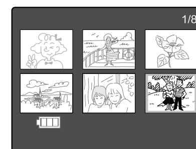


② “◢” ボタンを押します。



マルチ表示。

③ “△／▽／◁／▷” ボタンを使って画像を選びます。



④ “◢” ボタンを押すと選んだ画像が通常表示（シングル表示）になります。



こんなことも ...

マルチ表示中に “**MENU**” ボタンを押すと他の再生機能（66～69、71～76ページ）も使えます。
“◁” または “▷” ボタンで再生機能を選んでください。



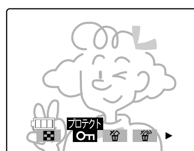
● メニュー表示中、画像の選択はできません。“**MENU**” ボタンを押してメニュー表示を消すと画像の選択ができます。
● ［**回転**］は設定できません。

画像をプロテクトする

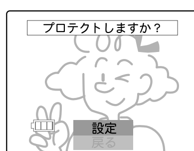
大切な画像を間違って消さないようにする機能です。
この機能は、複数の画像を削除するとき、全消去（68ページ）の機能と合わせて使うと便利です。

《操作》

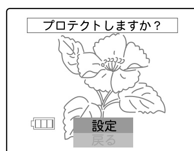
① “**MENU**” ボタンを押し、“◁” または“▷”ボタンを使って[**プロテクト**]を選びます。



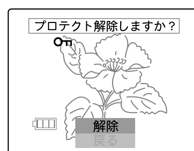
② “◢” ボタンを押します。



③ “◁” または “▷” ボタンを使って画像を選びます。



④ “◢” ボタンを押すと画像のプロテクト完了です。（O┳マークが表示されます）



- 解除する場合はもう一度、“◢” ボタンを押します。（O┳マークが消えます）

プロテクトを続ける場合は ③ ～ ④ の操作を繰り返してください。

操作の中止や終了は、[**戻る**] を選んで “◢” を押すか、“**MENU**” ボタンを押してください。

- 設定後、プロテクトされた画像を確認するときはインフォメーション（64ページ）を表示するか、マルチ再生（65ページ）で [O┳] のマークを確認してください。

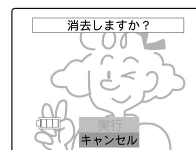
画像を選んで消去する

《操作》

① “**MENU**”ボタンを押し、“◁”または “▷” ボタンを使って［**消去**］を選びます。



② “◢” ボタンを押します。



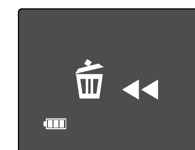
③ “◁” または “▷” ボタンを使って画像を選びます。



④ “△” ボタンを使って ［**実行**］ を選びます。



⑤ “◢” ボタンを押すと画像が消去されます。



- 消去が完了すると消去した画像の次の画像が表示されます。

消去を続ける場合は、③～⑤の操作を繰り返してください。

操作の中止や終了は、［**キャンセル**］を選んで “◢” を押すか、“**MENU**” ボタンを押してください。

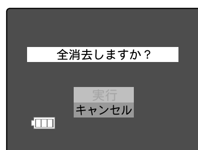
画像を全て消去する

《操作》

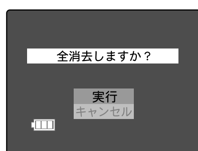
① “**MENU**” ボタンを押し、“◁” または “▷” ボタンを使って [**全消去**] を選びます。



② “◢” ボタンを押します。

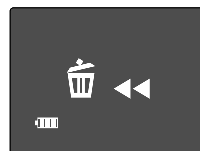


③ “△” ボタンを使って [**実行**] を選びます。



● [**キャンセル**] → “◢” ボタンで操作を中止します。

④ “◢” ボタンを押すと画像がすべて消去されます。



消去中の表示

⑤ 消去が終わると [**画像がありません**] のメッセージまたはプロテクトされていた画像が表示されます。



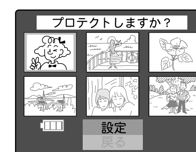


《複数の画像を消去するとき》

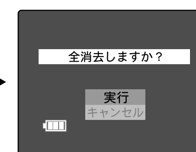
残しておきたい画像と、消去したい画像が複数枚あるときは、プロテクトと全消去を組み合わせて使うと便利です。

例）画像 30 枚中、5 枚を残して他を消去する場合。

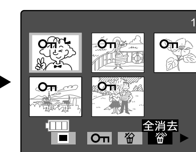
● 表示はマルチ表示を使っています。



まず、残しておきたい画像にプロテクトをかけます。



全消去を実行します。



プロテクトをかけた画像だけが残ります。

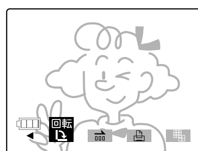
画像を回転する

画像を右 90°または左 90°に回転します。

● マルチ再生とプロテクトされているとき、この機能は操作できません。

《操作》

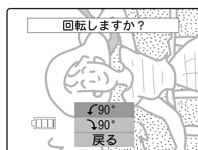
① “**MENU**”ボタンを押し、“◁”または“▷”ボタンを使って［**回転**］を選びます。



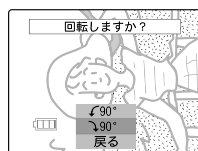
② “◢”ボタンを押します。



③ “◁”または“▷”ボタンを使って画像を選びます。



④ “△”または“▽”ボタンを使って［**⤵ 90°**］（または［**⤴ 90°**］）を選びます。



⑤ “◢”ボタンを押すと画像が回転します。



操作の中止や終了は、［**戻る**］を選んで“◢”を押すか、“**MENU**”ボタンを押してください。

自動再生する（スライドショー）

画像を一定時間で次々に表示する機能です。

《操作》

① “**MENU**”ボタンを押し、“◁”または“▷”ボタンを使って［**スライドショー**］を選びます。



② “◢”ボタンを押します。“△/▽/◁/▷”ボタンを使って再生の間隔や開始画像を設定します。

画像を自動再生する間隔を［**最短**］・［**10秒**］・［**15秒**］・［**30秒**］からお選びください。

スライドショーを開始します。



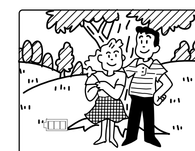
この操作を中止してメニュー表示に戻ります。

スライドショーを始める画像を選択します。

［**現在の画像**］：この操作を行う前に表示していた画像から始めます。

［**最初の画像**］：最初に記録した画像から始めます。

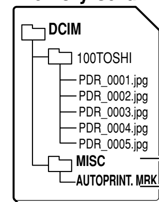
③ ［**スライド**］を選んで“▷”または“◢”ボタンを押すと、スライドショーが始まります。



④ スライドショーの終了は、“**MENU**”ボタンを押します。

DPOFの設定

DPOFとは、デジタルカメラで撮影した画像を家庭用プリンタやラボプリントサービスでプリントするための規格です。
プリントする枚数の指定や日付の印字指定などの簡単な設定ができます。ご使用のプリンタ、ラボプリントサービスがDPOFサービスに対応しているかご確認ください。この機能については、お使いのDPOF対応プリンターの取扱説明書も合わせてお読みになってください。



DPOF設定したデータは、画像データとは別に保存されます。

《操作》

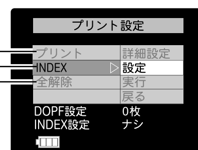
① プリント設定したい画像を表示します。



② “**MENU**”ボタンを押し、“▷”ボタンを使って［**プリント**］を選びます。



③ “◢”ボタンを押します。

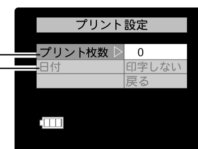


プリント、INDEXの設定内容を解除するときに使います。

インデックスプリントの要／不要を設定します。

枚数と日付印字の要／不要を設定します。

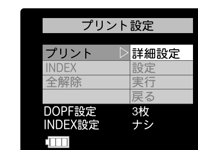
④ “▷” ボタンを押してプリント詳細設定のメニューを表示します。



プリント撮影日を印字するか、しないかを設定します。

プリント枚数を設定します。

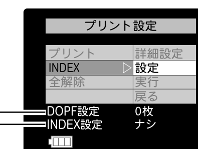
⑤ 設定が終わったら、[**戻る**]を選んで“◢”ボタンを押します。



⑥ インデックスをプリントするときは、[**INDEX**]→“▷”ボタン→［**INDEX 設定をおこなう**］→“◢”ボタンの順で設定します。



⑦ [**戻る**] を選んで“◢”ボタンを押して設定完了です。



インデックスプリントの有無

プリント設定した総枚数

- 画像ごとの設定枚数はインフォメーション（64ページ）でご確認ください。

〈ご注意〉

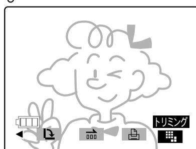
- DPOF設定したデータはメモリーカードに保存されますので、メモリーカードの残り容量によっては、DPOF設定ができないことがあります。
- メモリーカード上にDPOF設定された画像データをパソコンで消去等しないでください。
- ラボプリントサービスに出すときは、インフォメーション表示（64ページ）でプリント枚数をご確認ください。
- インデックスプリント設定後、新たに撮影した画像はインデックスに含まれません。再度インデックスの設定をし直してください。

画像の大きさを変える（トリミング）

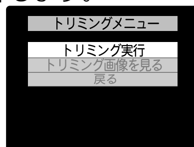
本機で撮影した画像のサイズを変えることができます。

《操作》

①トリミングしたい画像を“⊲”または“⊳”を使って選び、“**MENU**”ボタンを押します。“⊲”または“⊳”ボタンを使って“ ”に合わせ“◢”を押します。

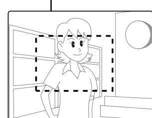


②［**トリミング実行**］を選び“◢”を押します。



③**[画像エリア選択]**画面が表示されます。

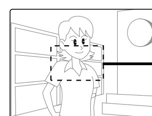




画像の中央部が表示されます。

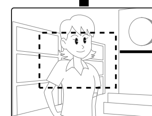
トリミングする範囲です。

④“**W**／**T**”を押してトリミングする範囲を選んでください。



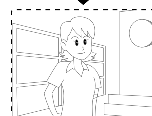
トリミングする範囲です。

T



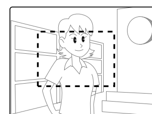
トリミングする範囲です。

W

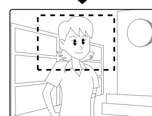


画像全体をトリミングします。

⑤このとき“△/▽/⊲/⊳”ボタンでトリミングするエリアを移動することができます。



“△”ボタンを押す



● 画像全体をトリミングするときは移動できません。

⑥設定が終わったら“◢”を押します。

⑦［**画像サイズ**］を設定します。

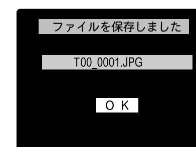


1枚の容量は約10KB～20KBになります。

1枚の容量は約4KB～7KBになります。

“⊲”または“⊳”を使って画像サイズを選択し、“◢”を押します。

⑧ファイル名が表示されます。



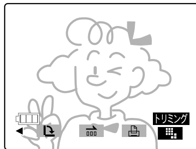
⑨“◢”を押すと［**トリミングメニュー**］に戻ります。

トリミングした画像を見る・消去する

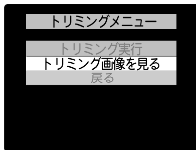
本機でトリミングした画像を見ることができます。

《操作》

① “**MENU**”ボタンを押します。“◁”または“▷”ボタンを使って“▦”に合わせ“◢”を押します。



②［**トリミング画像を見る**］を選び“◢”を押します。



③トリミングした画像が表示されます。



“◁”または“▷”ボタンで画像を選択できます。

《消去するには》

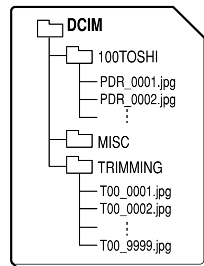
① “◁”または“▷”ボタンで消去したい画像を選択し、“△”ボタンで“🗑”に合わせて“◢”ボタンを押します。

② “**MENU**”ボタンを押すと再生画面に戻ります。

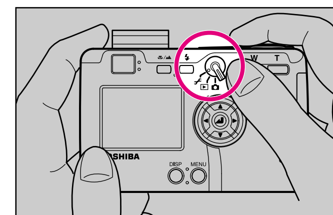
トリミングした画像をパソコンで見ることができます

①画面にWINDOWSなら「マイコンピューター」の中の「リムーバブルディスク」アイコンを、Macintoshなら「デスクトップ」の「名称未設定」アイコンをクリックしてください。（100ページ参照）

②下記の場所にトリミングした画像が記録されています。「TRIMMING」フォルダを開き、見たい画像のファイル名をダブルクリックしてください。



セットアップの使いかた





1. モード切替レバーを“ (セットアップ)”にして、カメラの電源をONにします。

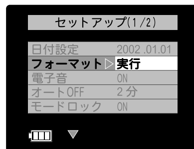
2. セットアップのメニューが表示されます。

メモリーカードのフォーマット

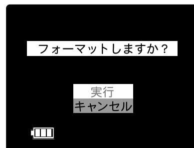
メモリーカードに記録されている画像やフォルダをすべて削除します（メモリーカードの初期化）。
プロテクトしてある画像も消えてしまうので、ご注意ください。
● SDメモリーカードがライトプロテクトされているときは実行できません。

《操作》

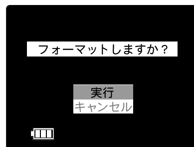
① “▽” ボタンを押して［**フォーマット**］を選びます。



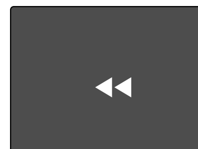
② “▷” ボタンまたは “◢” ボタンを押します。



③ “△” ボタンを押して［**実行**］を選びます。

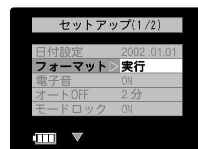


④ “◢” ボタンを押すとフォーマットを始めます。



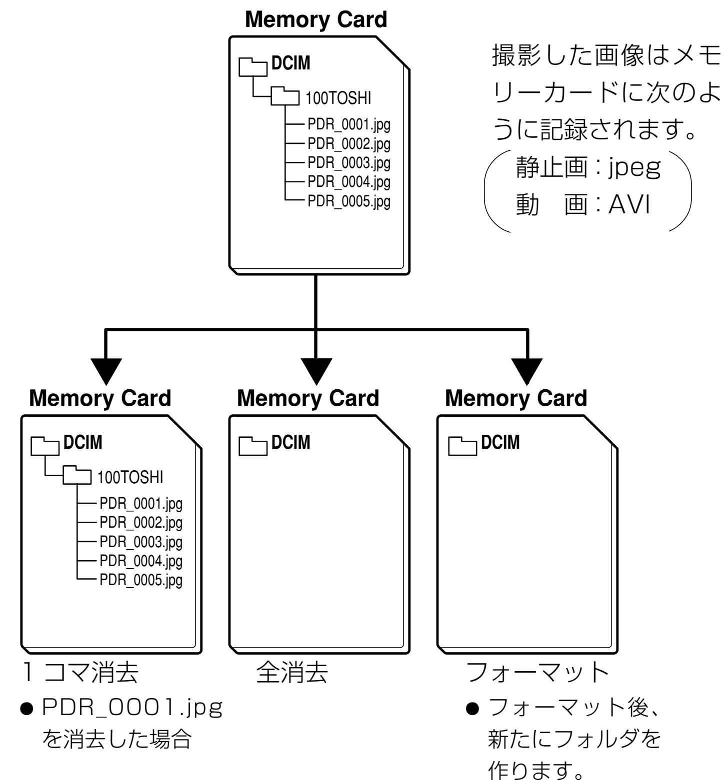
● フォーマットを開始すると中止はできません。

⑤ セットアップ機能のメニューが表示されて、フォーマット完了です。



《消去とフォーマットの違い》

画像を消去またはフォーマットすると、それぞれ次のようになります。



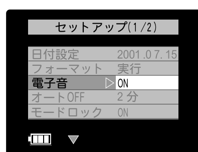
電子音のON/OFF

シャッターボタンを押したときの電子音を ON または OFF にできます。

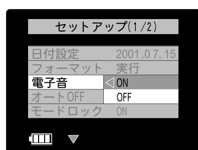
● 警告音と電源をONにしたときの動作音はOFFにできません。

《操作》

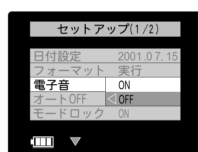
① “△” または “▽” ボタンを使って［**電子音**］を選びます。



② “▷” ボタン（または “◢” ボタン）を押します。



③ “△” または “▽” ボタンを使って［**OFF**］（または［**ON**］）を選びます。



④ “◁” ボタン（または “◢” ボタン）を押して、設定完了です。

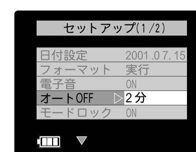


オートパワーOFF（節電機能）の設定

電源をONにした状態で、そのまましばらく放置しておくと自動的に電源が OFF になります。
この機能をオートパワー OFF といい、ここではその電源が OFF になるまでの時間を設定できます。

《操作》

① “△” または “▽” ボタンを使って［**オートOFF**］を選びます。



② “▷” または “◢” ボタンを押します。

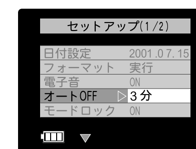


③ “△” または “▽” ボタンを使って［**3 分**］（または［**1 分**］、［**2 分**］、［**しない**］）を選びます。



● ［**しない**］は、オートOFF（節電機能）を解除します。

④ “◁” ボタン（または “◢” ボタン）を押して、設定完了です。



〈“ ” 撮影モードでお使いのときのご注意〉

“ ” 撮影モードでお使いのとき、“オートOFF” で設定した時間（または“しない”）により、カメラは次のように作動します。

1.［オートOFF］を［1分］、［2分］または［3分］に設定したとき

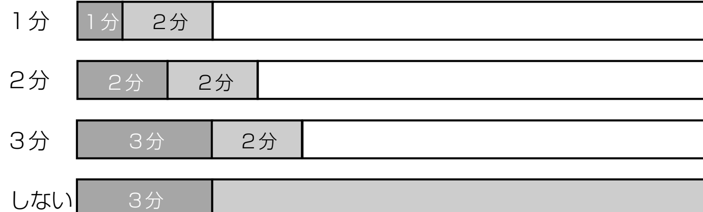
カメラに何もしないで、設定時間以上放置すると、カメラは2分間、休止の状態になります。

この間シャッターボタンを半押しするか他のボタンを押すと、撮影できる状態に戻りますが、この2分を越えると電源がOFFになります。

2.［オートOFF］を［しない］に設定したとき

カメラに何もしないで3分を超えて放置すると、カメラは休止の状態になります。

このとき電源はOFFにならず、休止の状態が続きます。シャッターボタンを半押しするか他のボタンを押すと、撮影できる状態に戻ります。



- （濃い灰色）：電源ONで撮影モードになっていて、カメラに何もしないで放置している状態
- （薄い灰色）：休止の状態。カメラは、レンズが出た状態で止まっているが、シャッターボタンの半押しや他のボタンを押すことで撮影できる状態に戻る。
- （白）：電源OFFの状態。

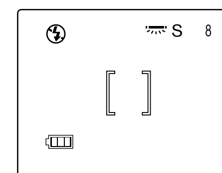
撮影モードロックのON/OFF

カメラの電源をOFFにして再度ONにしたとき、電源をOFFにする直前に設定した機能を保持するか、初期設定の表示に戻すかを選ぶことができます。

● 設定した機能を保持することをモードロックとよびます。

《モードロックON/OFF時の表示の違い》

電源OFF前

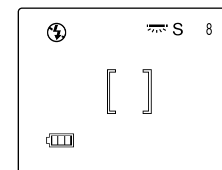


〈設定例〉

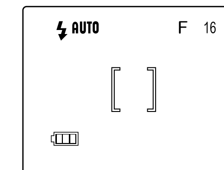
ストロボ　：発光禁止
画質　　　：スーパーファイン
WBモード：蛍光灯




電源ON後



モードロックONのときは電源をOFFにする前の設定を保持します。



モードロックOFFのときは初期設定に戻ります。

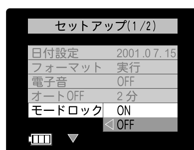
〈初期設定の機能とその詳細〉→89ページ

《操作》

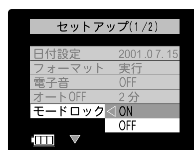
① “▽” ボタンを押して［**モードロック**］を選びます。



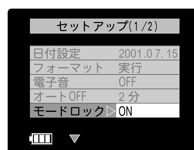
② “▷” ボタン（または “◢” ボタン）を押します。



③ “▽” ボタンを押して［**ON**］（または［**OFF**］）を選びます。



④ “◁” ボタン（または “◢” ボタン）を押して、設定完了です。

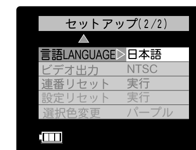


表示言語を切り替える

このカメラの言語表示を日本語または英語（フランス語、ドイツ語、スペイン語）に切り替えます。

《操作》

① “△” または “▽” ボタンを使って［**言語LANGUAGE**］を選びます。



② “▷” ボタン（または “◢” ボタン）を押します。



③ “△” または “▽” ボタンを使って［**ENGLISH**］（または［**日本語**］、［**FRANÇAIS**］、［**DEUTSCH**］、［**ESPAÑOL**］）を選びます。



④ “◁” ボタン（または “◢” ボタン）を押して、設定完了です。



ビデオ出力方式を選ぶ

海外旅行など、滞在先のテレビで画像を再生するとき、お使いになる地域によって画像が再生できないことがあります。
このようなときは、このモードを使ってビデオ出力方式を切り替えてください。

● 初期設定はNTSCです。

《操作》

① “△” または “▽” ボタンを使って［**ビデオ出力**］を選びます。



② “▷” ボタン（または “◢” ボタン）を押します。



③ “△” または “▽” ボタンを使って［**PAL**］（または［**NTSC**］）を選びます。



④ “◁” ボタン（または “◢” ボタン）を押して、設定完了です。



メモリーカードに新しいフォルダを作る

この機能を実行すると、フォルダを新規に作成して、そこに新たな画像データを記録します。（連番リセットとよびます。）
撮影場面が変わるときなど画像データの記録管理に便利です。

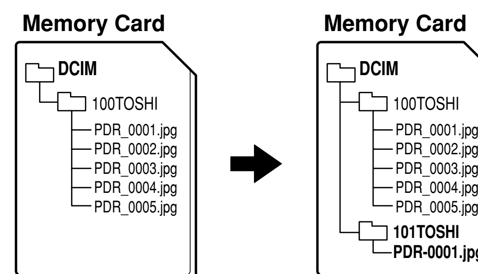
《連番リセット実行前と後の記録状態》

連番リセット前

撮影した順に番号をファイル名につけて記録されます。

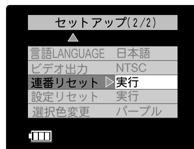
連番リセット後

新たにフォルダが作られ、“PDR_0001.jpg” から順に新しいフォルダに記録されます。

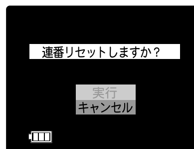


《操作》

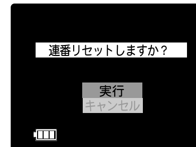
① “△” または “▽” ボタンを使って［**連番リセット**］を選びます。



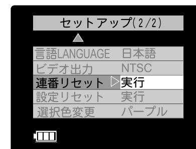
② “▷” ボタン（または “◢” ボタン）を押します。



③ “△” ボタンを使って［**実行**］を選びます。



④ “◢” ボタンを押して、設定完了です。

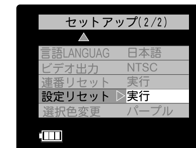


撮影モードとセットアップモードを初期設定に戻す

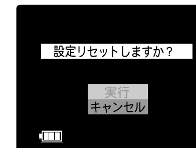
モードロックがONのときに設定した撮影モードとセットアップモード（［**日付設定**］、［**ビデオ出力**］、［**言語LANGUAGE**］を除く）を初期設定に戻すときに使います。

《操作》

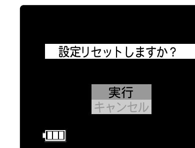
① “△” または “▽” ボタンを使って［**設定リセット**］を選びます。



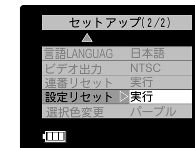
② “▷” ボタンまたは “◢” ボタンを押します。



③ “△” または “▽” ボタンを使って［**実行**］を選びます。



④ “◢” ボタンを押して、設定完了です。



〈初期設定時の機能とその詳細〉

“📷” モード

ストロボ	：**自動発光**
マクロ／遠景	：**なし**
セルフタイマー	：**なし**
画質	：**F**
露出補正	：**なし**
WB モード	：**AUTO**
カラーモード	：**カラー**
AE モード	：**プログラム**
フォーカス	：**AF（オートフォーカス）**
長時間露光	：**OFF**
感度	：**標準**
測光モード	：**評価測光**
REC レビュー	：**OFF**
電子ズーム	：**ON**

“🔧（セットアップ）” モード

電子音	：**ON**
オート OFF	：**2 分**
モードロック	：**ON**
言語 LANGUAGE	：**日本語**
選択色変更	：**パープル**

その他

明暗調整	：**標準**

選択色の変更

このモードは現在選択している設定ボタン（メニュー）の色を変えることができます。[**パープル**]、[**レッド**]、[**イエロー**]、[**ブルー**] の4色から見やすい色を選択してください。

《操作》

① “△” または “▽” ボタンを使って［**選択色変更**］を選び、“▷” ボタン（または “◢” ボタン）を押します。



② “△” または “▽” ボタンを使って［**パープル**］（または［**レッド**]、[**イエロー**］［**ブルー**］）を選びます。



③ “◁” ボタン（または “◢” ボタン）を押して、設定完了です。



MEMO

パソコンで画像を見る

お持ちのパソコンにパソコンインターフェースのソフトやドライバーをインストールしていただくと、次のことができるようになります。

・画像の取り込み
東芝デジタルスチルカメラで撮影した画像をお使いのパソコンに取り込むことができます。
取り込むためには USB ケーブル（付属）がご利用になれます。

・静止画を編集する
Image Expert を使って、取り込んだ静止画像を編集したり、お使いのパソコンに接続されたプリンタから印刷することができます。

・動画を再生する
取り込んだ動画を再生することができます。

・動画を保存する
取り込んだ画像や編集した静止画をお使いのパソコンに保存することができます。

《パソコンの推奨使用環境》

推奨 Windows 環境

●OS　Microsoft Windows 98、Windows 98SE、Windows ME、Windows 2000 Professional、Windows XP、Home Edition および Profesional がプレインストールされていること。
上記のOSでもアップグレードされた場合は動作保証いたしません。

● メモリー : 64MB 以上

●CPU　MMX Pentium 200MHz 以上

●USB 端子が標準で装備されていること。

●CD-ROM ドライブが装備されていること。

● ハードディスクの空き容量　20MB 以上

推奨Macintosh 環境

●Mac OS 8.6〜9.1 およびOS X（OS Xサーバーを除く）がプレインストールされていること。上記の OS でもアップグレードされた場合は動作保証いたしません。

●USB 端子が標準で装備されていること。

● インストールに必要なハードディスク容量　8MB

● 動作に必要なハードディスク容量　60MB

各ソフトウェアについて

付属の CD-ROM で次のソフトウェアをインストールすることができます。

●Image Expert（イメージエキスパート）
取り込んだ静止画の編集・印刷や動画の再生。詳しい使いかたは付属の CD-ROM をご覧ください。

●USB ドライバー
パソコンのUSBコネクタを利用して、画像を取り込む場合にインストールします。

●Quick Time（クイックタイム）
取り込んだ動画の再生に必要なソフトウェアです。詳しい使いかたは同梱の CD-ROM をご覧ください。
Image Expert に続けてインストールしてください。

ご注意
最初に下記のことをご確認ください。
・パソコンにCD ドライブがある。
・パソコンにUSB端子がある。
・グラフィックソフトがある。

USB ドライバーをインストールする

本機をパソコンに接続する前に、お手持ちのパソコンに USB ドライバーをインストールします。USB ドライバーは本機に付属している CD-ROM に収録されています。

＊USBケーブルは、USB ドライバーのインストールが完了してから接続してください。先にUSBケーブルを接続するとUSB ドライバーが正しくインストールできません。

Windows をお使いの場合

《インストール操作》

● WindowsXP 以外をお使いの場合は必ず行ってください。
① パソコンの電源を入れ、Windows を立ち上げます。
② 付属の CD-ROM をパソコンの CD-ROM ドライブにセットします。
③ “日本語”をクリックします。
④ “ドライバーをインストール”をクリックします。
　画面の指示にしたがってインストールを継続します。
⑤「Install Shield ウイザードの完了」のメッセージが出たら、「今すぐコンピュータを再起動する」をクリックし、再起動してください。

Windows XP へのインストールについて

●USB ドライバーのインストール終了後はじめてUSBケーブルをUSBポートに差し込むと、**[新しいハードウエアの検索ウィザードの開始]**が表示されます。このとき **[次へ]** をクリックしてください。続いて **[ハードウェアのインストール]** 画面が表示されます。
このときも必ず **[続行(C)]** をクリックしてください。
この画面はUSB ポートにUSB デバイスをはじめて差し込んだときに表示される画面で 2 回目からは表示されません。

Macintoshをお使いの場合

Mac OS 8.6のみはドライバーのインストールが必要です。

Mac OS 9.0以上およびOS Xではドライバーのインストールなしでご使用いただけます。

＊USBケーブルは、USBドライバーのインストールが完了してから接続してください。先にUSBケーブルを接続するとUSBドライバーが正しくインストールできません。

《インストール操作（Mac OS 8.6のみ）》

① パソコンの電源を入れ、Macintoshを立ち上げます。
② 付属のCD-ROMをパソコンのCDドライブにセットします。
③ 画面に表れるCDドライブのアイコンをダブルクリックしてウインドウを開いてください。
④ ［DRIVER］のフォルダをダブルクリックしてウインドウを開いてください。
⑤ ［UDO(J)］のフォルダをダブルクリックしてウインドウを開き、下記のファイルをシステムフォルダにコピーしてください。
　●UDO-USB Storage Driver
　●UDO-USB Storage Shim
⑥ コピー完了後、パソコンを再起動してください。
　以上でインストールが終了します。

●USBケーブルの接続の仕方は《**USBケーブルをパソコンに接続する**》の項目をご覧ください。

画像ソフトをインストールする

《Image Expertのインストール（Windows）》
① 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
②“日本語”をクリックします。
③“ Image Expertをインストール”をクリックします。
　画面の指示にしたがってセットアップを継続します。

《Image Expertのインストール（Macintosh）》
① 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。
②“ Install Image Expert”をクリックします。
　画面の指示にしたがってセットアップを継続します。
③“Japanese”をクリックします。

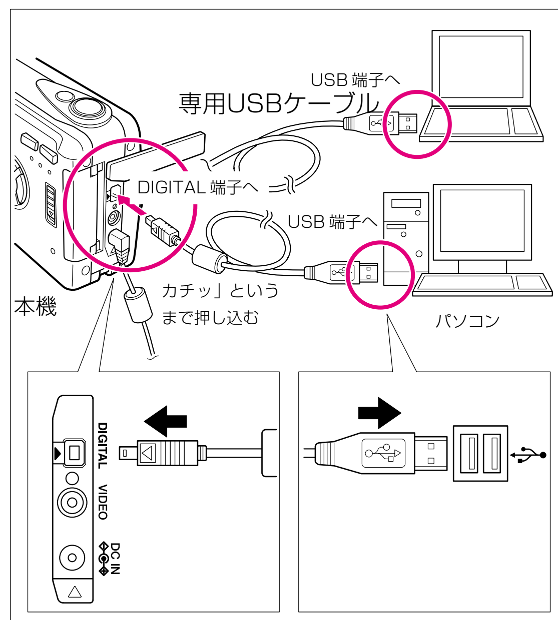
動画再生ソフトをインストールする

《Quick Timeのインストール（Windows）》
① CD-ROMをエクスプローラなどで開きます。
　例）CD-ROMのアイコン上で、右クリックし「開く（O)」を選択します。
② QuickTimフォルダを開きます。
③ Japaneseフォルダを開きます。
④ QuickTim.exeをダブルクリックします。
⑤ 画面の指示にしたがって、QuickTimeをインストールしてください。

《Quick Timeのインストール（Macintosh）》
お使いのMacintoshのQuickTimeのバージョンを確認してください。
QuickTimeのバージョンが4.0以上の場合、以下の作業は必要ありません。
① デスクトップにCD-ROM「PDR-3310」がマウントされます。
② PDR-3310アイコンをダブルクリックします。
③ QuickTimeフォルダを開きます。
④ Japaneseフォルダを開きます。
⑤ QuickTime Installerをダブルクリックします。
⑥ 画面の指示にしたがって、QuickTimeをインストールしてください。

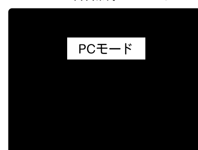
USBケーブルをパソコンに接続する

専用のUSBケーブルで本機とパソコンを接続します。
ご注意
USBジャックの大きさをご確認ください。本機側のUSBジャックは小さい方、パソコン側は大きい方です。



本機にUSBケーブルを差し込むと液晶画面に**[PCモード]**の表示が表れ、パソコンで作業することができます。

● このときセルフタイマーLEDが点滅します。



※USBドライバーのインストールの仕方は95、96ページの《USBドライバーをインストールする》を参照の上、正しくインストール作業を行ってください。

※パソコンにつないで画像を見たり、画像をコピーしているときは、カードアクセスLEDが点滅します。このときUSBケーブルを抜いたり、パソコンの電源を切らないでください。

《USBケーブルの取り外しについて》

パソコンからUSBケーブルを取り外すときは以下の方法で取り外してください

Windows Meをお使いのかたへ

1. デスクトップ右下にある「タスクバー」の［ハードウエアの取り外し］アイコンをダブルクリックする。
2. **[USBディスク]** を選択して **[停止]** をクリックします。
3. **[USBディスク]** を選択して **[OK]** をクリックします。
4. メッセージが表示されるので **[OK]** をクリックします
5. USBケーブルをパソコンとカメラから取り外します。

Windows　2000/XPをお使いのかたへ

1. デスクトップ右下にある「タスクバー」の［ハードウエアの取り外し］アイコンをダブルクリックする。
2. **[Digital Camera USB Device1]** を選択して **[停止]** をクリックします。
3. **[Digital Camera USB Device1]** を選択して **[OK]** をクリックします。
4. **[安全に取りはずすことができます]** とメッセージが表示されるので **[OK]** をクリックします
5. USBケーブルをパソコンとカメラから取り外します。

Windows 98をお使いのかたへ

カメラの電源を切りそのままUSBケーブルをはずしてください。

Mac OSをお使いの方へ

デスクトップ上の**[名称未設定]**のフォルダをドラッグしてゴミ箱に入れてください。**[安全に取り外すことができます]**の表示が出てからUSBケーブルを取り外してください。

パソコンで画像を見る

WINDOWSをお使いの場合

ご確認ください

パソコンに画像を見るためのソフトがインストールされていること。
（動画の再生には QuickTime4.0 以上のインストールが必要です。）
本機にメモリーカードが挿入されていること。

《操作》

① 本機にメモリーカードを挿入してください。
② 本機を AC アダプターに接続し、カメラの電源を入れてください。
③ パソコンと本機を付属の USB ケーブルで接続してください。
（本機の液晶画面に ［**PC モード**］ が表れます。）
④ ［**マイコンピューター**］ に新しい ［**リムーバブルディスク**］ のアイコンが表示されます。ダブルクリックしてウインドウを開いてください。
⑤ DCIM 内の ［XXXTOSHI］ もしくは ［TRIMMING］ フォルダを開き、見たい画像ファイルをフォルダの中から選んでダブルクリックしてください。

Macintoshをお使いの場合

ご確認ください

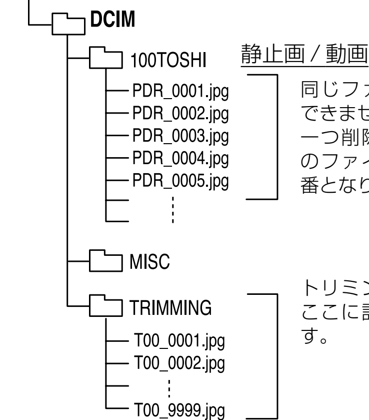
パソコンに画像を見るためのソフトがインストールされていること。
（動画の再生には QuickTime4.0 以上のインストールが必要です。）
本機にメモリーカードが挿入されていること。

《操作》

① 本機にメモリーカードを装入してください。
② 本機を AC アダプターに接続し、カメラの電源を入れてください。
③ パソコンと本機を付属の USB ケーブルで接続してください。
（本機の液晶画面に ［**PC モード**］ が表れます。）
④ **デスクトップ**に ［**名称未設定**］ のアイコンが表示されます。ダブルクリックしてウインドウを開いてください。
⑤ DCIM 内の ［XXXTOSHI］ もしくは ［TRIMMING］ フォルダを開き、見たい画像ファイルをフォルダの中から選んでダブルクリックしてください。

WINDOWS

新しいリムーバブルディスク



静止画 / 動画

同じファイル名はできません。画像を一つ削除するとそのファイル名は欠番となります。

トリミング画像はここに記録されます。

Macintosh

名称未設定

DCIM　静止画 / 動画

100TOSHI



《パソコンとの通信》

パソコンがサスペンド･レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

ご注意

- 画像に加工を加える場合は（たとえばサイズを変更したり回転する場合）、加工前にパソコンにコピーをとり、オリジナルに加工を加えないようご注意下さい。
  メモリカードのデータに直接加工を加えると、本機で画像を見ることができなくなります。
- パソコンからメモリーカードをフォーマットしないでください。
- メモリーカードの画像データを削除またはPC上に直接移動しないでください。メモリーカードの画像データの消去は本機から行ってください。



※ SD ロゴは商標です。
※ Microsoft および Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
※Macintosh および Mac OS、QuickTime™ および QuickTime ロゴは、Apple Computer, Inc. の登録商標です。
※ 全ての会社名、ブランド名または商品名は、それらの所有者の登録商標または商標です。

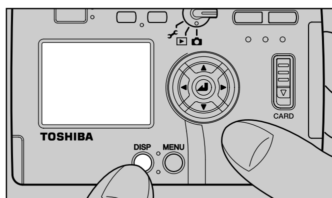
PRINT Image Matching

※PRINT Image Matchingは、デジタルカメラによって生成されたイメージのヘッダーに含まれるコマンド（カラーセッティング、イメージパラメータ情報）をベースとした画像処理技術を示します。

その他

液晶モニターについての操作

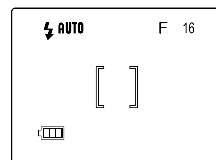
《液晶モニターのON/OFF》



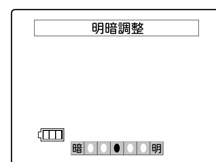
撮影モードのとき、"**DISP**"ボタンを押すと液晶モニターの表示を出したり、消したり出来ます。

● 消費電力の節約のため、こまめに消すことをおすすめします。

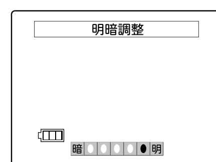
《明るさの調節》



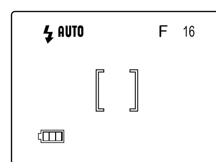
モード切替レバーをスライドして"📷"または"▶"に合わせます。



"◢"ボタンを押します。



"◁"または"▷"ボタンを押して明るさを調節します。



"◢"ボタンを押すか、3秒以上放置すると元の表示に戻ります。

● テレビ接続時、明るさ調整はできません。

故障とお考えになる前に・・・

操作	現象	原因	対策
撮影	液晶モニター表示「カードがいっぱいです」	メモリーカードの記録容量が足りない。	新しいメモリーカードを入れてください。または、不要な画像を消去してください。
	液晶モニター表示"カードがありません"	メモリーカードが入っていません。	カメラにメモリーカードを入れてください。
	液晶モニター表示"カードエラーです"	他の機種でフォーマットされたメモリーカードを使っている。	カメラでメモリーカードのフォーマットをしてください。(→78ページ)
	液晶モニター表示"カードエラーです"	カードコネクターまたはカードが汚れている	カードの端子部をクリーニングしてからカメラでメモリーカードのフォーマットをしてください。
	液晶モニター表示"ライトプロテクト"	SDメモリーカードのライトプロテクトスイッチがロック（書込禁止）されている。	SDメモリーカードのロックを解除するか、他のメモリーカードをご使用ください。
	カードアクセスLED	画像の記録中。	一旦シャッターボタンから指を離してお待ちください。
	警告LED遅い点滅	ストロボ充電中	
	液晶表示「⚠⚡閉じています」	ストロボが閉じています。	ストロボを指で押さえつけていないかご確認ください。
	警告LED速い点滅	カメラぶれ警告。シャッタースピードが遅くなります。	三脚などでカメラを固定して撮影してください。
	撮影したのに撮影可能枚数が変わらない。	撮影した画像のファイルサイズが小さかった。	画質モードや被写体の状態によるものなので、特に問題ありません。
	緑LED点滅	ピントが合っていません。（撮影はできます）	フォーカスロックを使って被写体のコントラストの強いところにピントを合わせてから構図を決めて撮影してください。（→59ページ）
	合焦マーク点滅		

操作	現象	原因	対策
再生	液晶モニターが消えている。	カメラに何もしないでしばらく放置すると、カメラが休止の状態になります。	シャッターボタンを半押しするか他のボタンを押すと、撮影できる状態に戻ります。"オートOFF"で設定した内容によって異なりますので、詳しくは81ページをご覧ください。
	再生画面にノイズがあり見づらい。	テレビもしくはカメラの近くに磁石等、磁気を発生するものがある。	カメラを磁気を発生するものから遠ざけてください。
	テレビに映らない。	カメラとテレビが正しく接続されていない。	カメラとテレビを正しく接続してください。
		ビデオ出力方式がテレビと合っていない。	ビデオ出力方式をテレビと合わせてください。(→86ページ)
	液晶モニター表示"カードエラーです"	ファイル形式が違う画像ファイルがメモリーカードに記録されている。	パソコンで再生してください。
		このカメラで取り扱いできないフォーマット形式のメモリーカードである。	
		カードが正しく装着されていない。	メモリーカードを装着し直してください。
	液晶モニター表示"画像がありません"	メモリーカードに何も記録されていません。	撮影済みのメモリーカードを入れてください。
	液晶モニター表示"カードがありません"	メモリーカードが入っていません。	カメラにメモリーカードを入れてください。
	画像の回転やDPOF設定ができない。	SDメモリーカードがライトプロテクトのロック(書込禁止)されている。	SDメモリーカードのロックを解除してください。(→27ページ)

操作	現象	原因	対策
消去	画像が消去できない。"O┳"点灯	画像がプロテクトされている。	プロテクトを解除してください。(→66ページ)
	画像が消去できない。	他の機器で記録したデータが入っている。	このカメラでは消去できません。但し「フォーマット」を利用して全画像を消去することはできます。
	画像を消去したのに撮影可能枚数が増えない。	消去した画像の容量が少なかった。	画質モードや被写体の状態によるものなので、特に問題ありません。
充電	充電ができない。	リチウムイオンバッテリーパックが入っていない。	リチウムイオンバッテリーパックをカメラに入れてください。
	充電ができない。または、中断してしまう。警告LED遅い点滅	周囲の温度が高すぎるまたは低すぎるため、充電保護回路が働いて充電を停止した。	周囲の温度が+10℃〜30℃の範囲で充電してください。(実際は+5℃〜40℃でも可能ですが、充電時間が多少遅くなります。)
その他	液晶モニターに何もでてこない。	電池切れ、または入っていない。	リチウムイオンバッテリーパックをカメラに入れて充電してください。
	液晶モニターに何もでてこない。	オートOFF機能で電源がOFFになった。(→81ページ)	再度メインスイッチを押してONにしてください。
	カメラが熱くなる。	液晶モニター使用時には大電流が流れます。そのため長時間使用すると熱くなります。	故障ではありませんが、しばらく休止してからお使いください。
	液晶モニターに何も出てこない	電池切れ、または入っていない。	充電済みのバッテリーと交換する。
	バッテリーの消耗が早い	温度が極端に低い所で使用している	バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付ける。
		端子が汚れている。	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭く。

現象		原因	対策
その他	バッテリーの消耗が早い	バッテリーの寿命	新しいバッテリーと交換する。
再生	パソコンで再生できない。	ー	パソコンメーカーまたはソフトウェアメーカーにお問い合わせください。
操作	パソコンとUSB接続ができない。	バッテリーが残り少ない。	ACアダプターを使用してください。
		本機の電源が入っていない。	電源を入れる。
		USB ケーブルがしっかり差し込まれていない。	一度パソコンと本機からケーブルを抜いて、しっかりと差し込み本機液晶画面が、「PCモード」になっていることを確認する（98 ページ）
		パソコンの USB 端子に本機の他に機器が接続されている。	キーボード／マウス以外は取り外してみてください。
		USB ドライバーがインストールされていない。	USB ドライバーをインストールする（95 ～ 96 ページ）。

SD メモリーカードのご使用上のお願い

- SDメモリーカードのセットアップや取り出しは電源を切った状態で行ってください。
- 次の場合、記録したデータが消滅することがあります。弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
  - お客様または第三者がSDメモリーカードの使い方を誤ったとき
  - SDメモリーカードが静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
  - SDメモリーカードへ記録動作中･消去動作中･フォーマット動作中にSDメモリーカードを取り出したり、電源を切ったとき
- 大切なデータは別のメディア（フロッピーディスク、ハードディスク、MOディスクなど）にコピーして、保存されることをおすすめします。
- 画像の記録･消去（フォーマット）中は、絶対にSDメモリーカードを取り出したり、電源を切ったりしないでください。SDメモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のSDメモリーカードを使用しないでください。無理にご使用になると本製品の故障の原因となります。
- SDメモリーカードは精密電子機器です。曲げたり、強い力やショックを加えたり、落としたりしないでください。またズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに壊れるおそれがあります。
- 強い静電気･電気的ノイズの発生しやすい環境でのご使用･保管は避けてください。
- 高温多湿の場所、または腐食性のある環境でのご使用･保管は避けてください。
- SDメモリーカードの電極部（金色の部分）にゴミや異物がつかないように、また触らないようにご注意ください。汚れは、かわいた柔らかい布などで拭いてください。
- SDメモリーカードの持ち運びや保管は、静電気による影響を避けるため、必ず専用の静電気防止ケースに入れてください。
- 長時間お使いにならないときは、本体からSDメモリーカードを取り出して保管してください。
- 静電気を帯びたSDメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤動作する場合があります。このような場合は、いったん電源を切ってから再び電源を入れ直してください。

● 長時間お使いになったあと、取り出したSDメモリーカードが暖かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
● SDメモリーカードにも寿命があります。長時間使用するうちに書き込みや消去ができなくなった場合は、新しいものをお求めください。

主な仕様

本体

型式： 記録再生消去一体型デジタルスチルカメラ
記録媒体： SDメモリーカード、マルチメディアカード
撮影枚数の目安と記録画素数：(SDメモリーカード 16MB使用、同モードのみで撮影した場合)

スーパーファイン	約7〜9枚	2048×1536
ファイン	約15〜19枚	2048×1536
ノーマル	約54〜64枚	1024×768
動画（15秒で1枚）	約3枚	320×240

フォーマット： JPEG準拠（Exif ver2.1）、DCF準拠（Design rule for Camera File system）対応、DPOF対応
(注) DCFとは、主としてデジタルカメラの画像ファイルを、関連機器間で簡便に利用しあうことを目的として規定された（社）電子情報技術産業協会（JEITA）の規格『Design rule for Camera File system』の略称です。
有効画素数： 322万画素
撮影素子： 1/1.8インチ正方画素インターレース読み出し方式CCD 総画素数334万画素
レンズ： f=7.3mm〜21.9mm(35mmフィルム換算、約35mm〜105mm相当) 3倍ズームレンズ、F2.8〜4.8
撮影距離範囲： CCD前面より 約60cm〜∞
マクロ撮影時 約17cm〜60cm（ズーム全域）
露出制御／測光方式：CCD画面多分割評価測光、中央重点、スポット測光
制御方式： プログラムAE、絞り優先AE、長時間露出
露出補正： ＋2.0EV〜－2.0EV（1/3ステップ）
絞り： 固定（F2.8、F9.6*）、自動 *：明るさ換算F値
測光連動範囲： LV6〜LV16
ホワイトバランス：自動、手動（プリセット、太陽光、白熱電球、曇天、蛍光灯）
シャッター： CCD電子シャッター、絞り羽根独立プログラム電子シャッター併用方式（1秒〜1/2000秒、2秒、4秒、8秒）
焦点調整： ビデオフィードバック方式オートフォーカス、マニュアルフォーカス
ファインダー： 実像式ズームファインダー
ストロボ： 内蔵式、充電時間約8秒（フル充電時、常温、当社測定基準による）、撮影範囲 約60cm〜2.5m（ワイド時）

撮影モード：　ストロボモード（自動発光／赤目軽減自動発光／強制発光／発光禁止／*赤目軽減強制発光）、マクロ撮影モード、遠景撮影モード、カラーモード（カラー／白黒／セピア）、ホワイトバランス（オート／太陽光／白熱電球／曇天／蛍光灯／プリセット）、AEモード（プログラム／F2.8／F9.6）、フォーカス（AF／MF）、長時間露出（OFF／2秒／4秒／8秒）、感度（標準／2倍／4倍）、測光モード（評価測光／中央重点／スポット）、電子ズームのON／OFF切り替え、RECレビューのON／OFF切り替え

*"長時間露出"のとき設定可能

再生モード：（通常再生）　マルチ再生、プロテクト、消去（1画像単位）、全消去（フォルダ"DCIM"内の全画像*）、回転（左右90度）、スライドショー、DPOF設定、トリミング

*但し、他社製のデジタルカメラで撮影した画像（フォルダ含む）は消去されません。

セットアップモード：日付の設定、フォーマットの実行、電子音の有無、オートパワーOFFの時間選択または有無（電源OFFになるまでの時間）、モードロックの有無（撮影モードで設定した機能のロック）、言語の選択（日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語）、ビデオ出力方式の選択（NTSCまたはPAL）、連番リセットの実行、設定リセットの実行、選択色の変更（パープル、レッド、イエロー、ブルー）

液晶モニター：　内蔵式、1.5インチ11万画素低温ポリシリコンTFTカラー液晶モニター、モニター画素数　521×218

表示部

液晶モニター表示：電池残量、撮影モードの設定状況（セルフタイマーモード／ストロボモード／マクロ･遠景／ホワイトバランスモード／AEモード／フォーカス／長時間露出／感度／測光モード）、撮影可能枚数、電子ズーム（×1.3／×1.6／×2.0）、日付（電源ON後3秒間のみ表示）、フォーカスフレーム、SDメモリーカードのライトプロテクト状態（カードがライトプロテクトされているときのみ表示）、記録画像（静止画／動画）、再生モード時の設定（マルチ再生／プロテクト／消去／全消去／回転／スライドショー／DPOF設定／トリミング）、セットアップモード（日付設定／フォーマット／電子音／オートOFF／モードロック／言語LANGUAGE／ビデオ出力／連番リセット／設定リセット／選択色変更）

セルフタイマーLED（赤）：セルフタイマー動作、撮影完了、パソコン接続中

カードアクセスLED（橙）：画像記録処理中、警告処理中、カードアクセス中

スタンバイLED（緑）：合焦表示、リチウムイオンバッテリー充電完了表示

警告LED（赤）：　ストロボ充電中、カメラぶれ警告、リチウムイオンバッテリーの充電中と異常

入出力装置

入出力端子：　ビデオ出力端子（φ3.5ミニジャック）、外部電源入力端子、DIGITAL入出力端子（専用角型8端子）

ビデオ出力：　NTSC/PALコンポジットビデオ信号切替方式

電池

電源：　3.6Vリチウムイオンバッテリーパック、専用ACアダプターにて使用可能

充電時間：　約5時間（フル充電、+10℃～+30℃）

電池寿命：　撮影画像枚数（ストロボ50％使用、ファインモード時）

液晶モニターON時　約100画像

液晶モニターOFF時　約150画像

連続再生時間　約50分（液晶モニター使用）

（いずれもフル充電時、常温、当社測定基準による）

その他

動作温度：　0℃～45℃

寸法：　91（幅）×57（高さ）×31.5（奥行き）mm（突起部含まず）

質量：　約175g（メモリーカード、バッテリー別）

※仕様・外観の一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。

保証書

保証書はお買い上げ店で所定事項の記入、および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまず取扱説明書をご覧になりながら、お調べください。
「故障とお考えになる前に」（P.105）
それでも調子が悪いときはお買い上げ店またはサポートダイヤルにご相談ください。

◇ 保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

◇ 保証期間後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

◇ 修理部品の保有期間
補修用部品は、製造打ち切り後 8 年をめやすに保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。

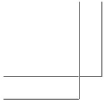
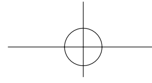
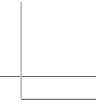
◇ 修理を依頼されるときは次のことをお知らせください
- ・型名：PDR-3310（Allegretto PDR-3310）
- ・故障の状況（できるだけ詳しく）
- ・ご購入年月日（保証書をご覧ください）
- ・お名前
- ・ご住所
- ・電話番号

インデックス

	項目	ページ
アルファベット	AE モード	50
	AF	51
	DPOF	72
	MF	51
	NTSC	86
	PAL	86
	PC モード	98
	REC レビュー	57
	SD メモリーカード	27, 109
	USB ケーブル	98
	USB ドライバー	95
	WB PRESET	47
あ	赤目軽減強制発光モード	53
	赤目軽減自動発光モード	38
い	インストール	95, 97
	インデックスプリント（INDEX）	72, 73
	インフォメーション	64
え	遠景撮影	40
お	オート OFF	81
	オートパワー OFF	81
か	カードアクセス LED（橙）	31, 32
	回転	70
	画質	43
	カラーモード	49
	感度	54
き	強制発光モード	38
け	警告 LED（赤）	21
	警告音	80
	言語 LANGUAGE	85
	現在の画像	71
さ	最初の画像	71
	再生モード	60
	撮影モード	29
	撮影モードロック	83
	サムネイル	63
し	時刻の設定	28
	自動発光モード AUTO	38
	絞り値	64
	シャッタースピード	52
	消去	67, 79

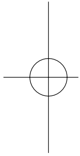
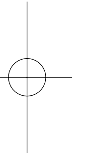
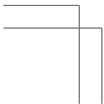
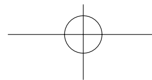
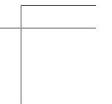
	項目	ページ
す	スタンバイ LED（緑）	21, 25
	ストロボ光の届く範囲	38
	ストロボ撮影	38
	スポット	55
	スライドショー	71
せ	設定リセット	89
	セットアップモード	28, 77, 89
	セルフタイマー	42
	セルフタイマー LED（赤）	21
	全消去	68
	選択色変更	90
そ	測光方式	55
ち	中央重点	55
	長時間露出	52
て	データ容量	43, 75
	テレビ	32, 61, 86
	電子音	80
	電子ズーム	31, 58
と	動画の再生	61, 100
	動画の撮影	33
	トリミング	74
は	パソコン	92 ～ 101
	発光禁止モード	38
	パララックス	34, 41
ひ	日付（撮影日時）	64
	日付の設定	28
	ビデオ出力方式	86
	ビデオ出力	86
	評価測光	55
	表示言語	85
ふ	ファイル	100, 101
	フォーカス	51
	フォーカスロック	59
	フォーマット	78
	フォルダ	78, 87, 96, 100
	プリセット PS	46
	プリンタ	72
	プログラムモード	50
	プロテクト	66
ほ	ホワイトバランス WB	46
ま	マーク	23
	マクロ撮影	40

	項目	ページ
	マルチ表示	65
も	モードロック	83
ら	ライトプロテクト	27
れ	連番リセット	87
ろ	露出補正	45

MEMO

MEMO

東芝製品の修理サービスはお買い上げの販売店が致します。
修理・お取り扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買い上げの販売店にお申し付けください。

【ご転居されたり、ご贈答品などで販売店に修理のご相談ができない場合は】
『東芝家電修理ご相談センター』：0120-1048-41（フリーダイヤル）
フリーダイヤルは、携帯電話、PHSなど一部の電話ではご利用になれません。
電話受付：365日・24時間受付

【デジタルスチルカメラに関するお問い合わせ】
使い方、故障、アプリケーションソフト等
モバイルAVサポートセンター ： TEL: 0570-05-7000 FAX: 03-3258-0470
受付時間 ： 月〜土 10:00〜20:00（祝祭日、年末年始を除く）
ホームページ：http://www2.toshiba.co.jp/mobileav/camera/

株式会社 東芝
モバイルAVネットワーク事業部
〒105-8001 東京都港区芝浦1丁目1番1号
※住所・電話番号は変更になることがありますのでご了承ください

ⒷRJ04026①
Printed in China